

火災調査の業務効率化等に係るアンケート調査結果

火災調査の業務効率化に向けた検討部会（第2回）

1 概要

火災調査業務における消防本部の実態を把握し、火災調査の業務効率化等について、より効果的な手法を検討するため、全国の消防本部に対し、一般財団法人日本消防設備安全センターを通じて、アンケート調査を実施した。

2 調査対象

全国726の消防本部

3 調査依頼期間

令和2年9月15日（火）から同年10月2日（金）まで

4 調査内容

参考資料1のとおり

5 回答数

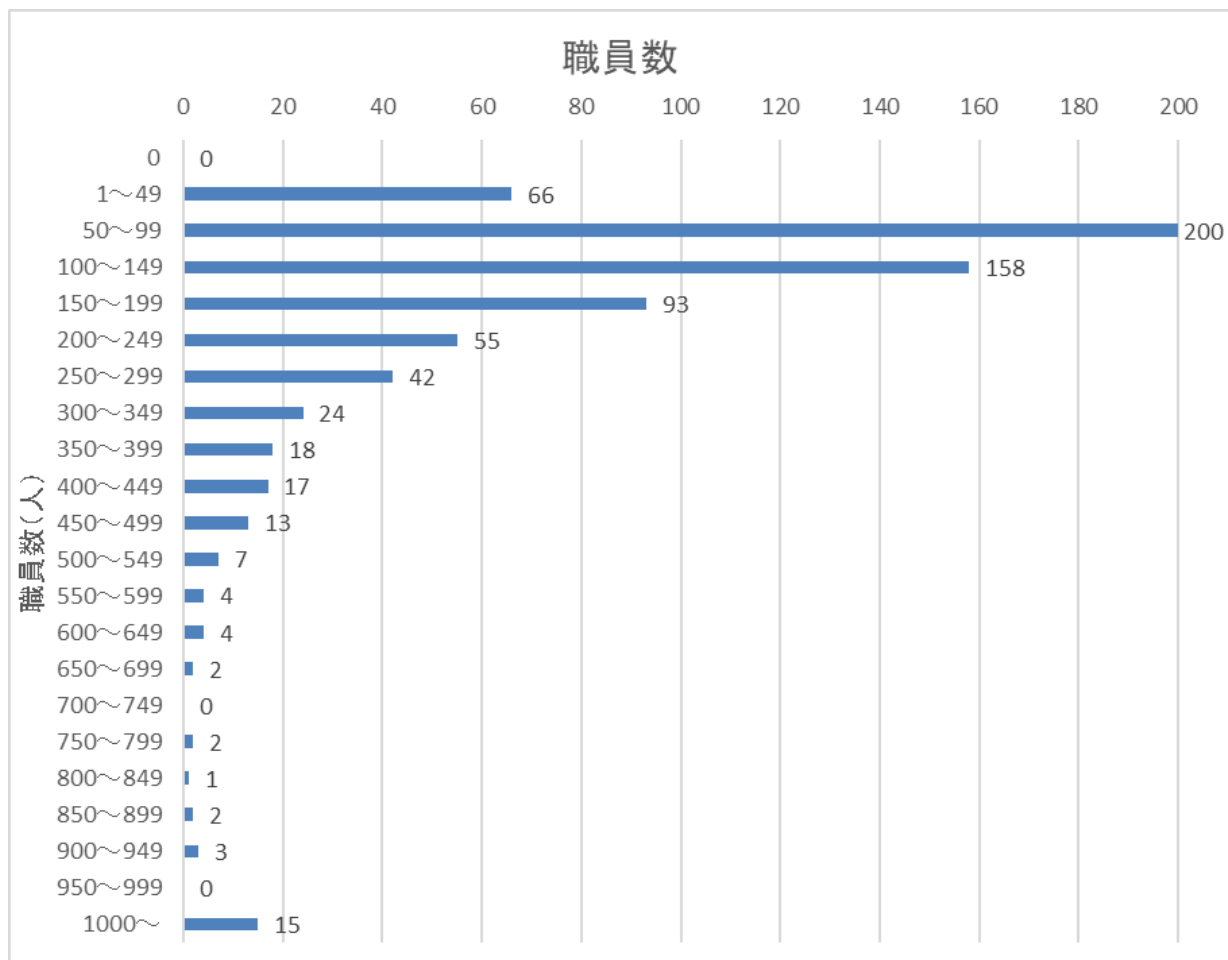
726本部

1. 火災調査体制について

問1-1 消防職員数及び専従職員数・兼務職員数（自由記入）

〈消防職員数〉

Q1-1-1	職員数(人)	回答数	割合(%)
1	0	0	0.0
2	1~49	66	9.1
3	50~99	200	27.5
4	100~149	158	21.8
5	150~199	93	12.8
6	200~249	55	7.6
7	250~299	42	5.8
8	300~349	24	3.3
9	350~399	18	2.5
10	400~449	17	2.3
11	450~499	13	1.8
12	500~549	7	1.0
13	550~599	4	0.6
14	600~649	4	0.6
15	650~699	2	0.3
16	700~749	0	0.0
17	750~799	2	0.3
18	800~849	1	0.1
19	850~899	2	0.3
20	900~949	3	0.4
21	950~999	0	0.0
22	1000~	15	2.1
合計		726	100.0

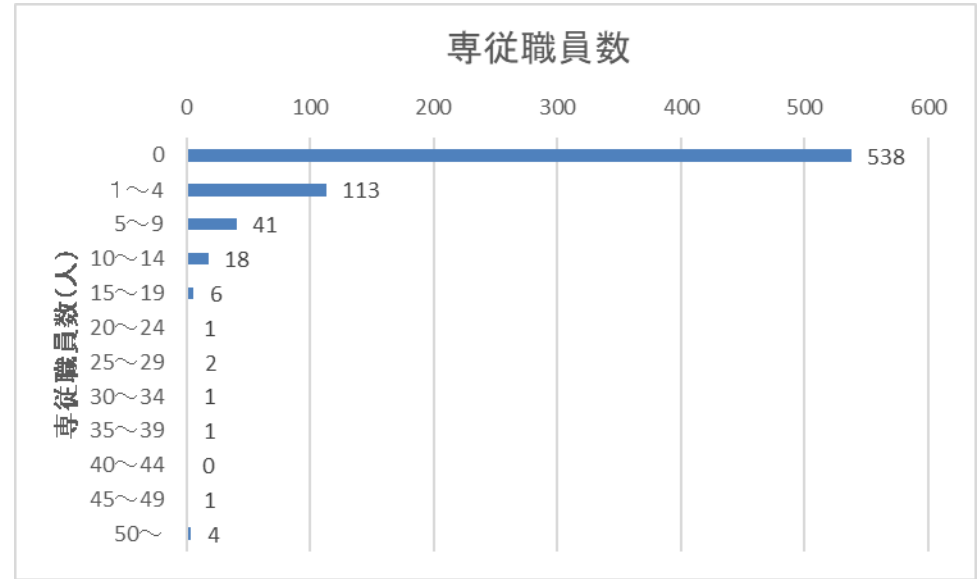


1. 火災調査体制について

問1-2・3 消防職員数及び専従職員数・兼務職員数（自由記入）

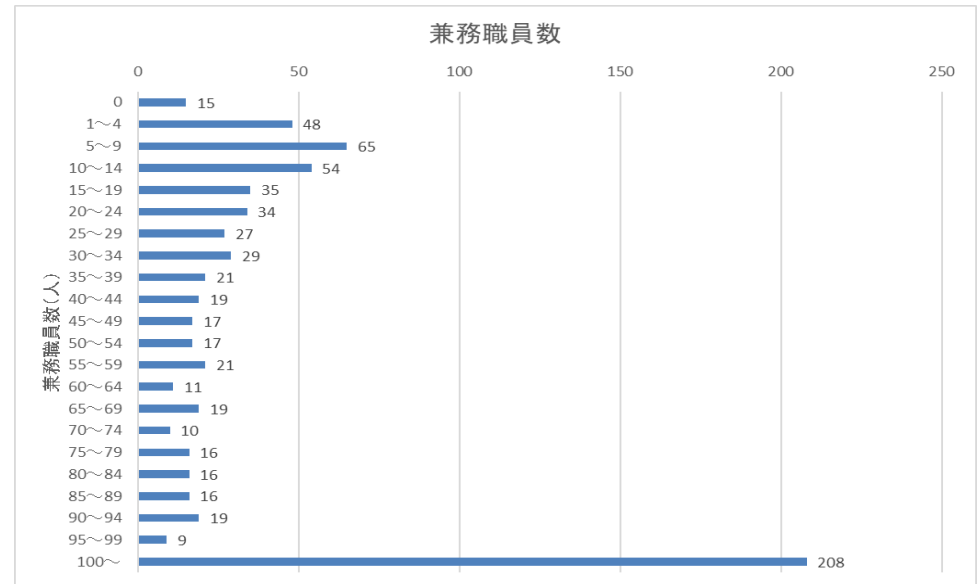
〈専従職員数〉

Q1-1-2	専従調査員数	回答数	割合(%)
1	0	538	74.1
2	1～4	113	15.6
3	5～9	41	5.6
4	10～14	18	2.5
5	15～19	6	0.8
6	20～24	1	0.1
7	25～29	2	0.3
8	30～34	1	0.1
9	35～39	1	0.1
10	40～44	0	0.0
11	45～49	1	0.1
12	50～	4	0.6
合計		726	100.0



〈兼務職員数〉

Q1-1-3	兼務職員数	回答数	割合(%)
1	0	15	2.1
2	1～4	48	6.6
3	5～9	65	9.0
4	10～14	54	7.4
5	15～19	35	4.8
6	20～24	34	4.7
7	25～29	27	3.7
8	30～34	29	4.0
9	35～39	21	2.9
10	40～44	19	2.6
11	45～49	17	2.3
12	50～54	17	2.3
13	55～59	21	2.9
14	60～64	11	1.5
15	65～69	19	2.6
16	70～74	10	1.4
17	75～79	16	2.2
18	80～84	16	2.2
19	85～89	16	2.2
20	90～94	19	2.6
21	95～99	9	1.2
22	100～	208	28.7
合計		726	100.0

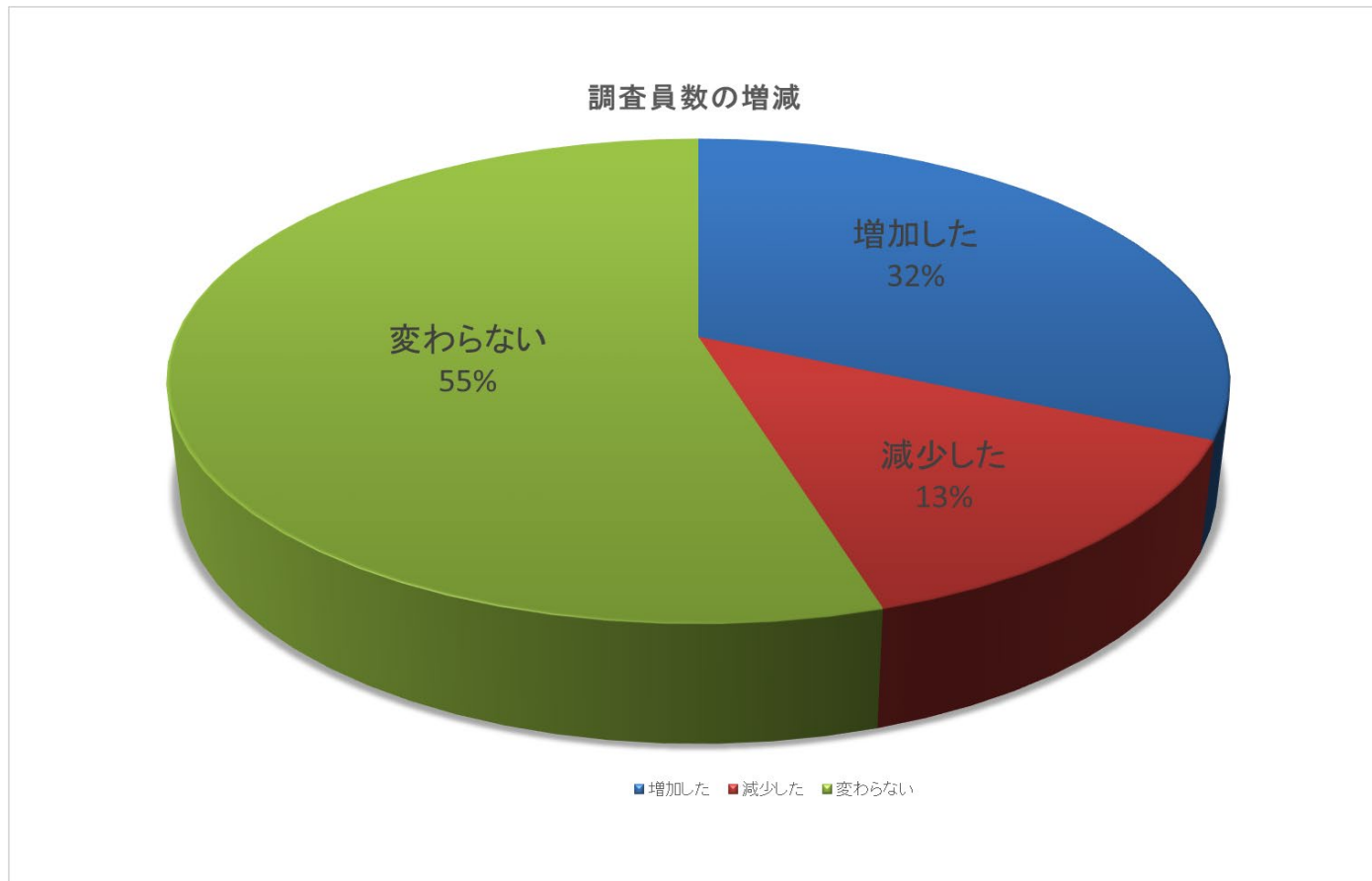


※1 専従調査員とは、調査係等に配置され、有事・平時間わず火災調査業務全般を専門に行う職員をいう。

※2 兼務調査員とは、調査事案が発生した場合は火災調査業務を行うが、平時は火災調査業務以外の業務を担当している職員をいう。

1. 火災調査体制について

問2-1 専従及び兼務調査員の増減の有無（10年前との比較）（択一）



Q1-2-1	調査員数の増減	回答数	割合(%)
1	増加した	229	31.7
2	減少した	98	13.6
3	変わらない	395	54.7
合計		722	100.0

未回答	4
-----	---

1. 火災調査体制について

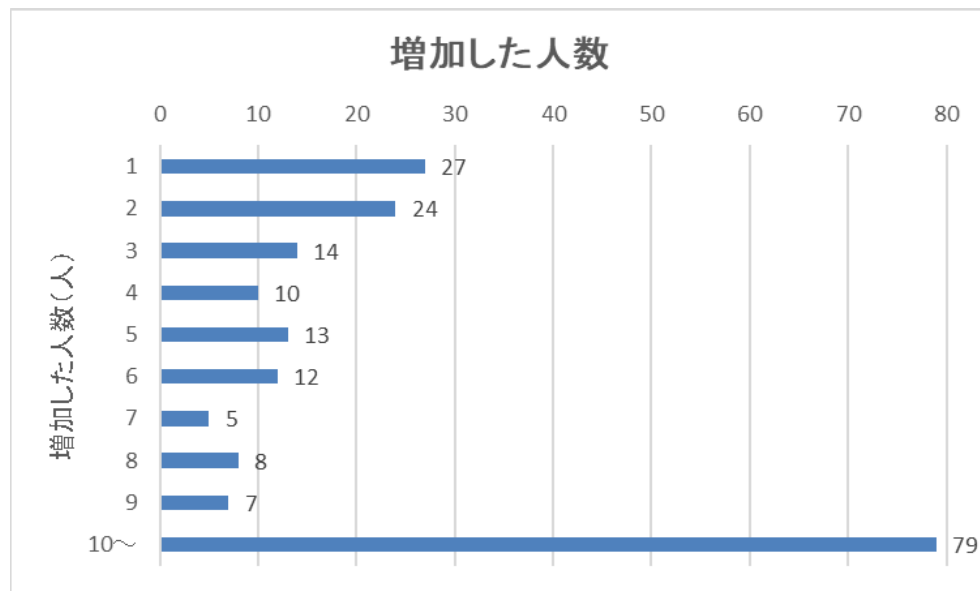
問2-2 専従及び兼務調査員の増減数（10年前との比較）（自由記入）

〈増加数〉

Q1-2-2	増加数	回答数	割合(%)
1	1	27	13.6
2	2	24	12.1
3	3	14	7.0
4	4	10	5.0
5	5	13	6.5
6	6	12	6.0
7	7	5	2.5
8	8	8	4.0
9	9	7	3.5
10	10~	79	39.7
合計		199	100.0

不明 30

※問2-1で「1」を選択した本部のみ回答

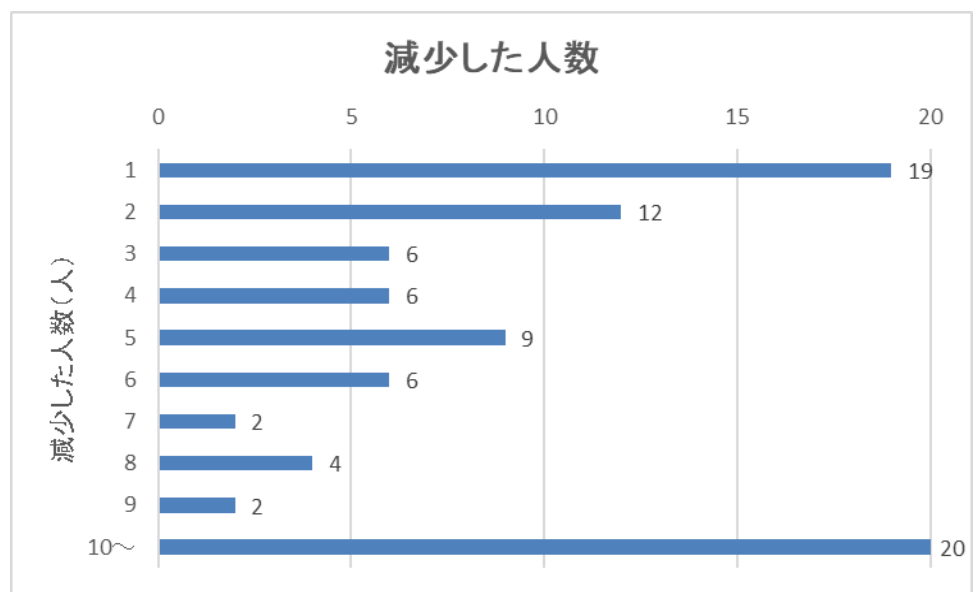


〈減少数〉

Q1-2-2	減少数	回答数	割合(%)
1	1	19	22.1
2	2	12	14.0
3	3	6	7.0
4	4	6	7.0
5	5	9	10.5
6	6	6	7.0
7	7	2	2.3
8	8	4	4.7
9	9	2	2.3
10	10~	20	23.3
合計		86	100.0

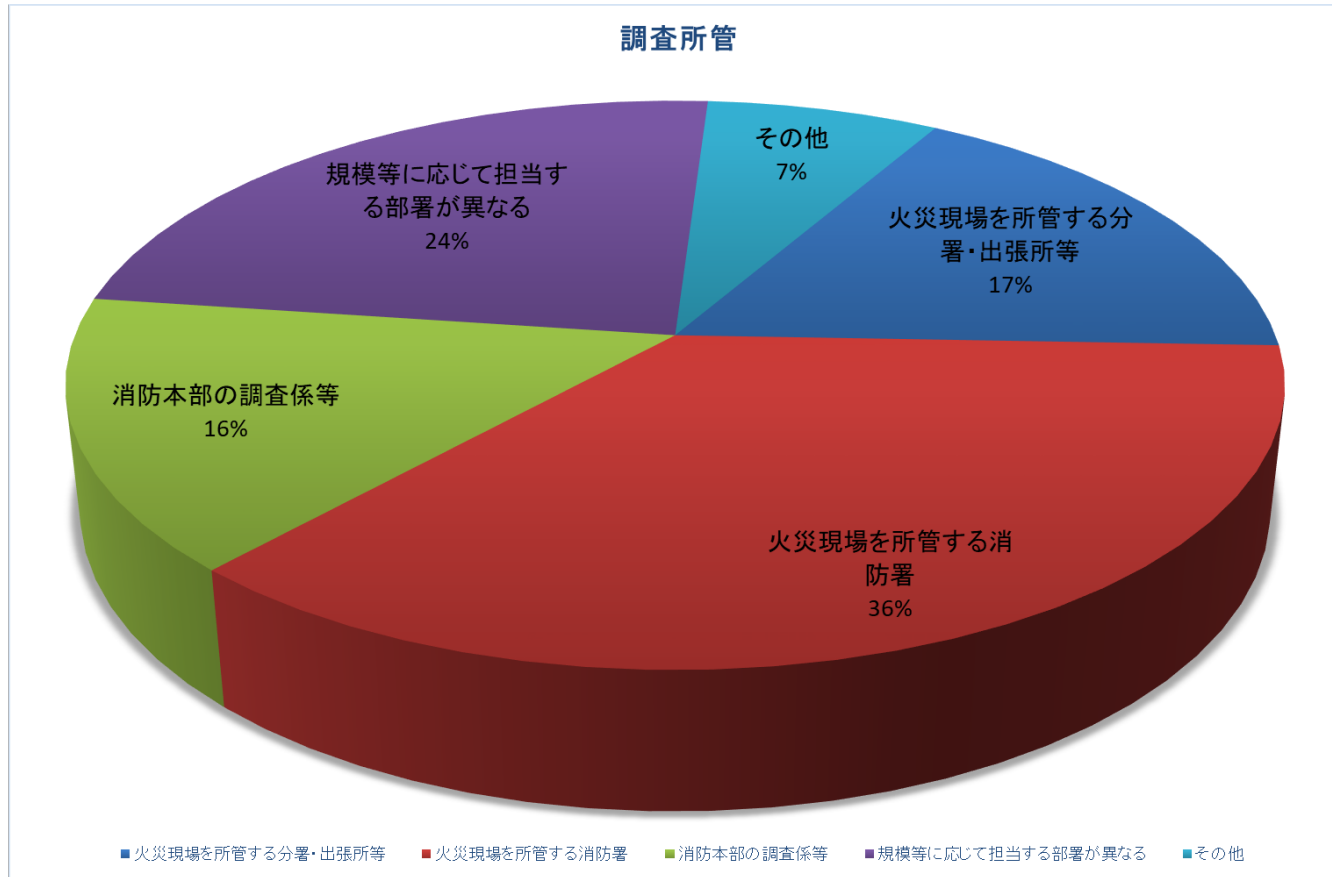
不明 12

※問2-1で「2」を選択した本部のみ回答



1. 火災調査体制について

問3 火災調査（調査書類等を主に作成）の担当部署（択一）



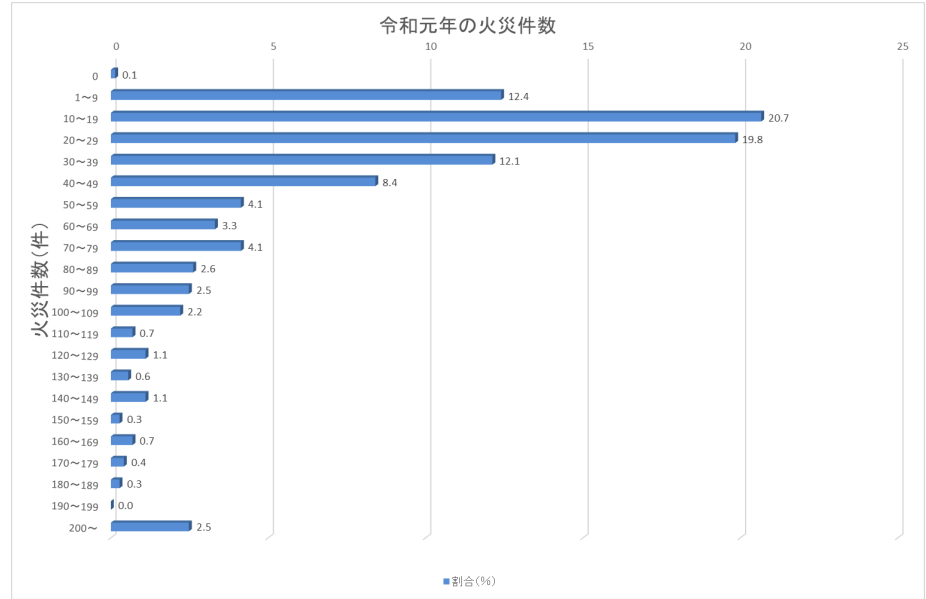
Q1-3	調査所管	回答数	割合 (%)
1	火災現場を所管する分署・出張所等	125	17.2
2	火災現場を所管する消防署	263	36.3
3	消防本部の調査係等	112	15.4
4	規模等に応じて担当する部署が異なる	173	23.9
5	その他	52	7.2
合計		725	100

不明	1
----	---

1. 火災調査体制について

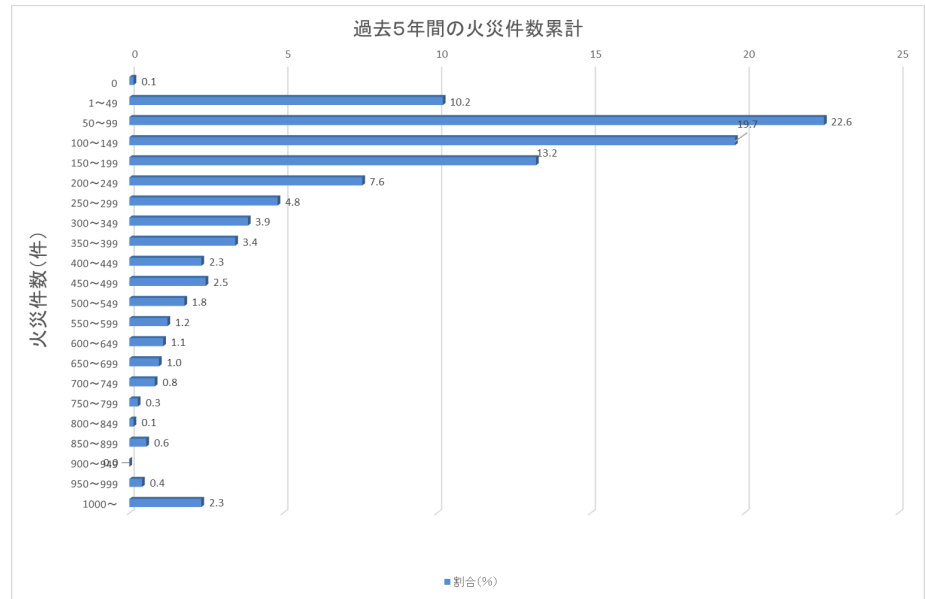
問4-1 令和元年の火災件数（自由記入）

Q1-4-1	R0 火災件数	回答数	割合(%)
1	0	1	0.1
2	1~9	90	12.4
3	10~19	150	20.7
4	20~29	144	19.8
5	30~39	88	12.1
6	40~49	61	8.4
7	50~59	30	4.1
8	60~69	24	3.3
9	70~79	30	4.1
10	80~89	19	2.6
11	90~99	18	2.5
12	100~109	16	2.2
13	110~119	5	0.7
14	120~129	8	1.1
15	130~139	4	0.6
16	140~149	8	1.1
17	150~159	2	0.3
18	160~169	5	0.7
19	170~179	3	0.4
20	180~189	2	0.3
21	190~199	0	0.0
22	200~	18	2.5
合計		726	100.0



問4-2 過去5年（平成27年から令和元年まで）の累計火災件数（自由記入）

Q1-4-2	火災 5年累計	回答数	割合(%)
1	0	1	0.1
2	1~49	74	10.2
3	50~99	164	22.6
4	100~149	143	19.7
5	150~199	96	13.2
6	200~249	55	7.6
7	250~299	35	4.8
8	300~349	28	3.9
9	350~399	25	3.4
10	400~449	17	2.3
11	450~499	18	2.5
12	500~549	13	1.8
13	550~599	9	1.2
14	600~649	8	1.1
15	650~699	7	1.0
16	700~749	6	0.8
17	750~799	2	0.3
18	800~849	1	0.1
19	850~899	4	0.6
20	900~949	0	0.0
21	950~999	3	0.4
22	1000~	17	2.3
合計		726	100.0

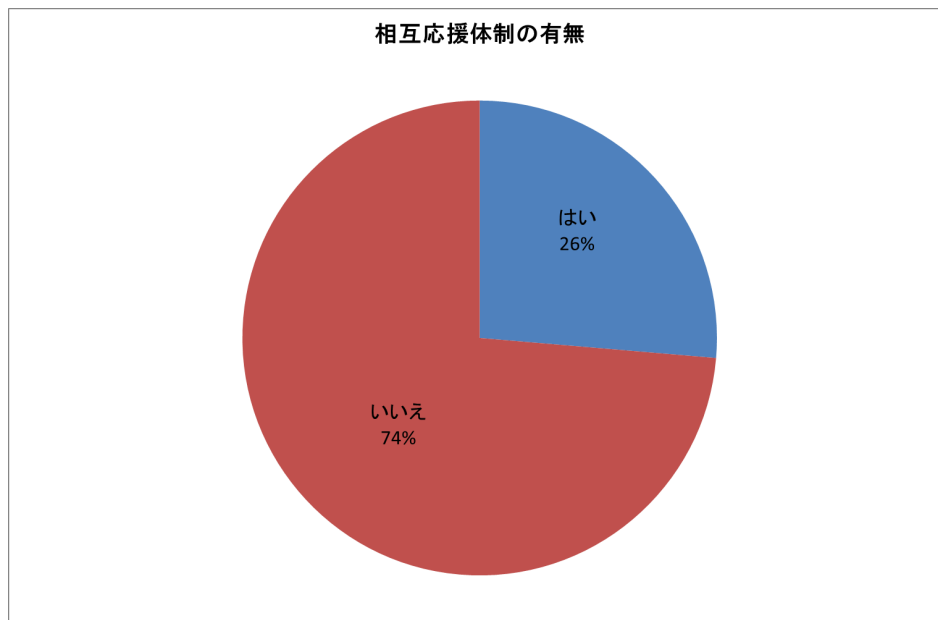


1. 火災調査体制について

問5-1 火災原因調査に関する市町村相互応援態勢の有無（択一）

Q1-5-1	相互応援体制	回答数	割合(%)
1	はい	191	26.3
2	いいえ	534	73.7
合計		725	100.0

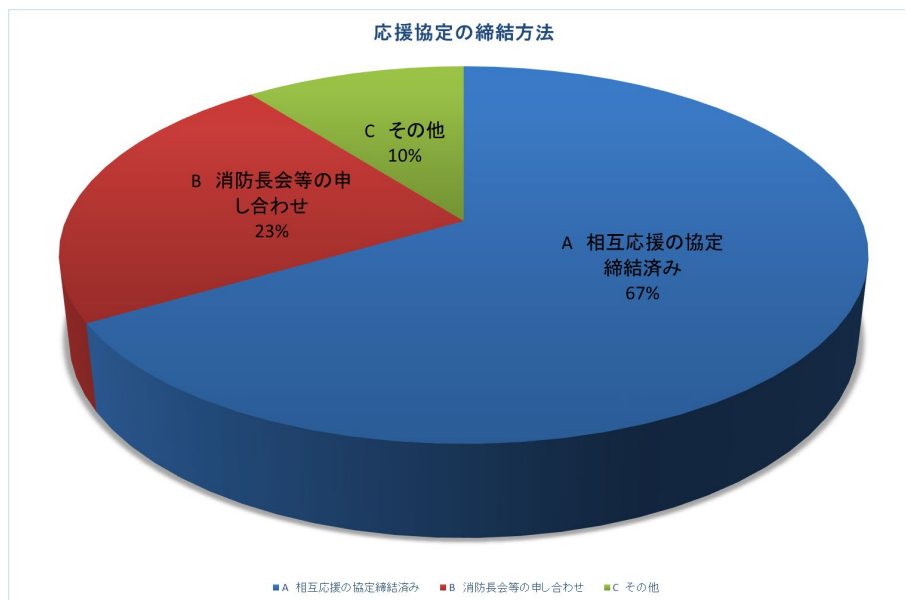
未回答



問5-2 締結方法（択一）

Q1-5-2	締結方法	回答数	割合(%)
1	A 相互応援の協定締結済み	127	66.5
2	B 消防長会等の申し合わせ	44	23.0
3	C その他	20	10.5
合計		191	100.0

※問5-1で「1」を選択した本部のみ回答

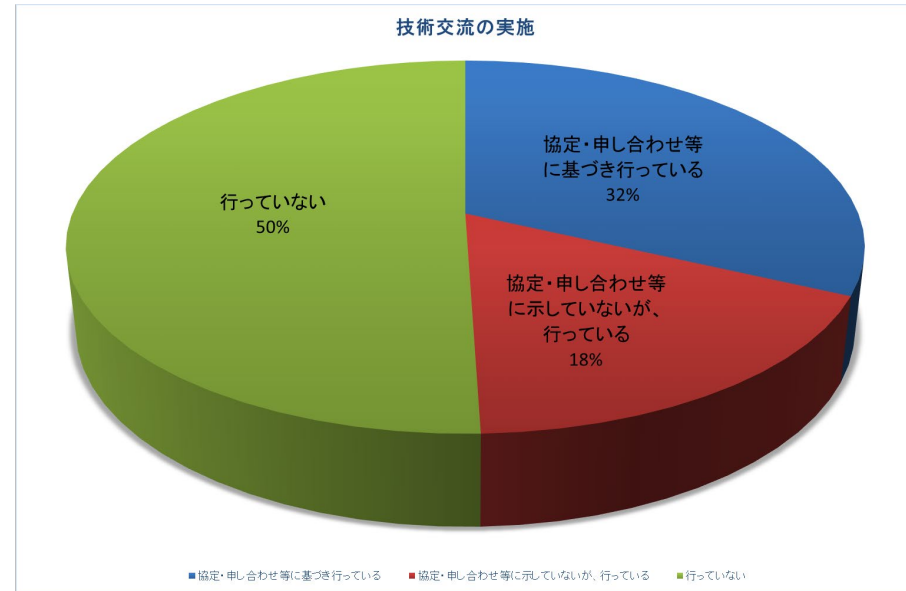


1. 火災調査体制について

問6 協定・申し合わせ等に基づく、火災調査業務の技術交流等の有無（択一）

Q1-6	技術交流	回答数	割合(%)
1	協定・申し合わせ等に基づき行っている	62	32.5
2	協定・申し合わせ等に示していないが、行っている	33	17.3
3	行っていない	96	50.3
合計		191	100.0

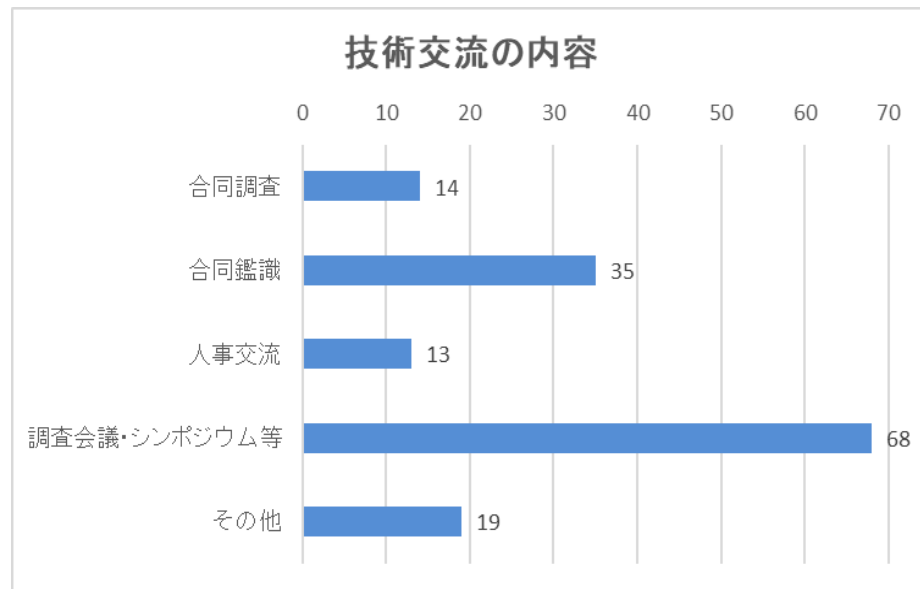
※問5-1で「1」を選択した本部のみ回答



問7 火災調査に関する技術交流等の内容（複数選択可）

Q1-7	実施内容	回答数	割合(%)
1	合同調査	14	14.7
2	合同鑑識	35	36.8
3	人事交流	13	13.7
4	調査会議・シンポジウム等	68	71.6
5	その他	19	20.0

※問6で「1又は2」を選択した本部のみ回答

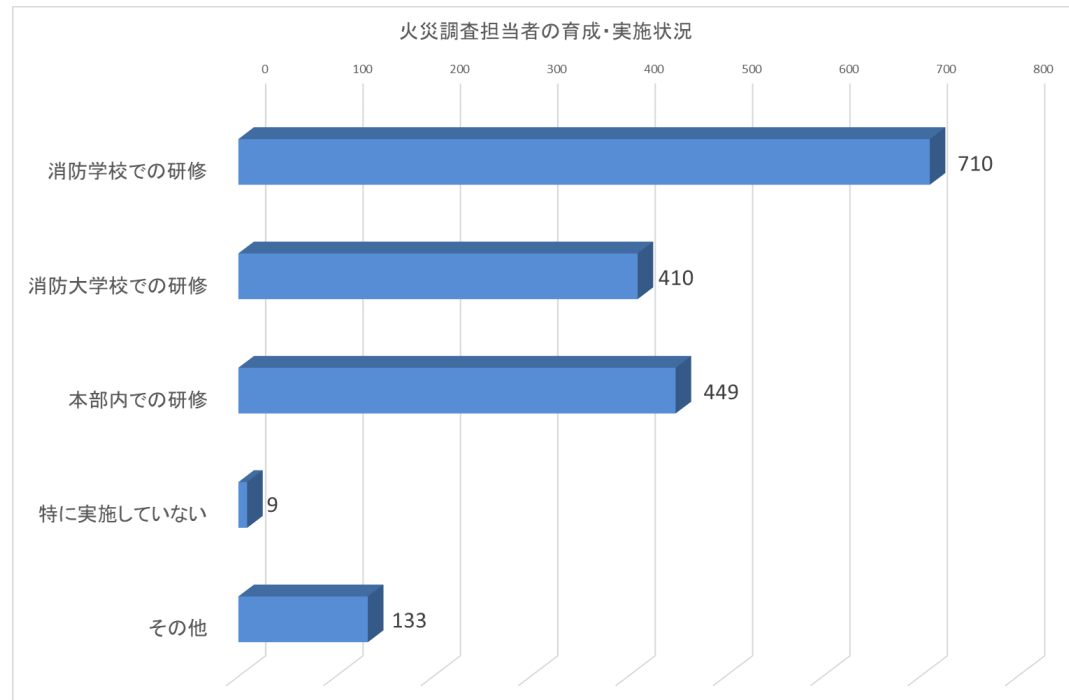


2. 火災調査担当者の育成状況について

問1 火災調査担当者の育成方法（複数選択可）

Q2-1	担当育成	件数	割合(%)
1	消防学校での研修	710	97.8
2	消防大学校での研修	410	56.5
3	本部内での研修	449	61.8
4	特に実施していない	9	1.2
5	その他	133	18.3

※割合については、726本部中の回答割合



【その他の育成方法】

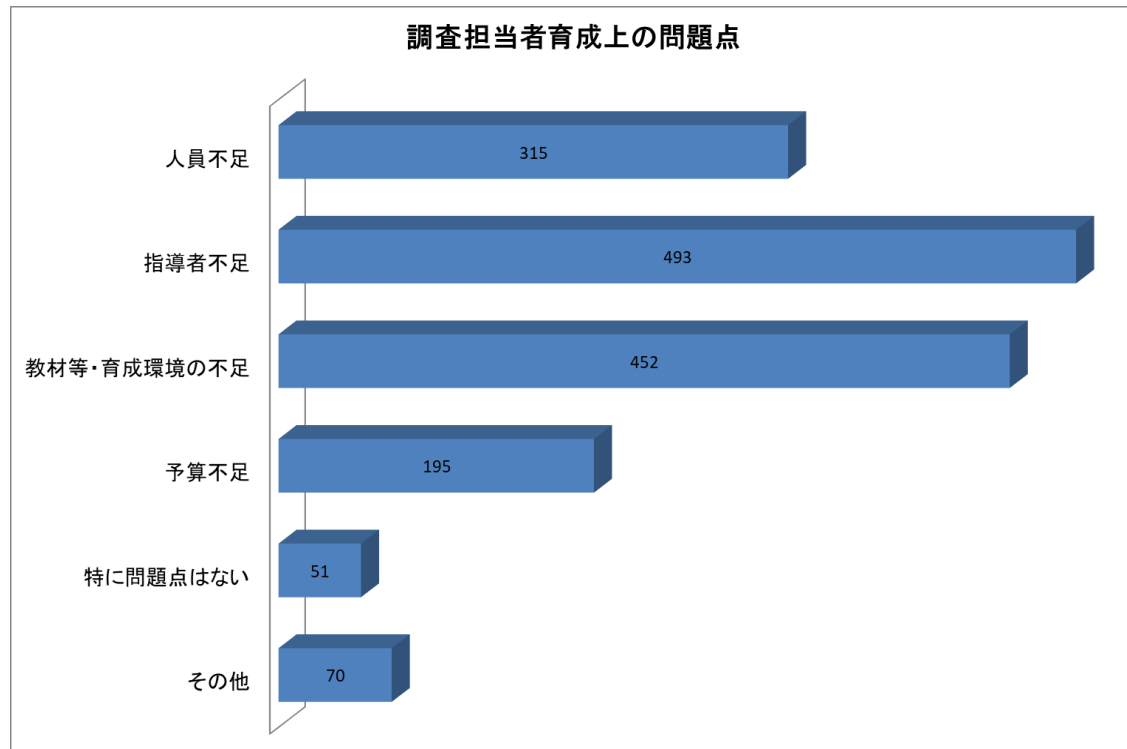
- ・他の消防本部での研修参加（県内消防本部合同研修、全消長会支部の研修、大都市消防本部での受託研修）
- ・他の団体が開催する研修・講演会等への参加（NITE、消防研究センター、日本火災学会等）
- ・学習ソフトウェアの活用（「火災調査シュミレーションアプリ」）

2. 火災調査担当者の育成状況について

問2 火災調査担当者の育成に関する問題点(複数選択可)

Q2-2	問題点	件数	割合(%)
1	人員不足	315	43.4
2	指導者不足	493	67.9
3	教材等・育成環境の不足	452	62.3
4	予算不足	195	26.9
5	特に問題点はない	51	7.0
6	その他	70	9.6

※割合については、726本部中の回答割合



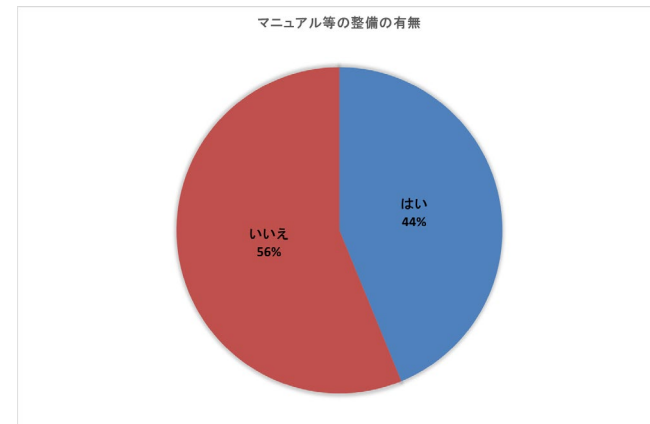
【その他の問題点】

- 兼務で様々な業務を担当しているため、専門知識を学習する時間がとりにくい。
- 火災件数が減少しているため経験値が少ない。
- 専門的知識が必要なため、習熟するのに時間を要する。
- 大量退職による経験不足者の増加している。

2. 火災調査担当者の育成状況について

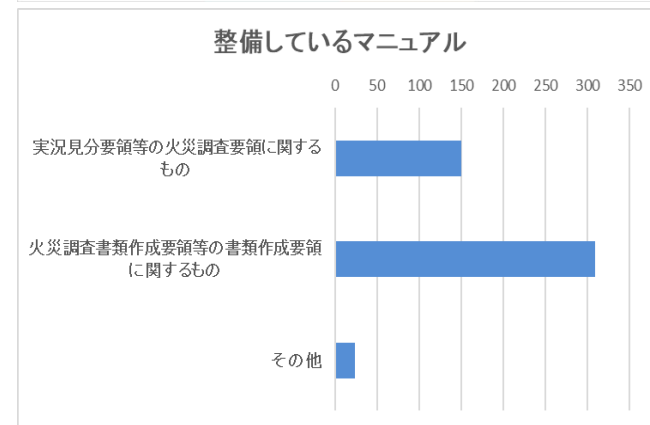
問3-1 実況見分要領、火災調査書類作成要領などの本部独自マニュアルの有無(択一)

Q2-3-1	マニュアル整備	件数	割合(%)
1	はい	318	43.8
2	いいえ	408	56.2
合計		726	100.0



問3-2 整備しているマニュアル内容(複数選択可)

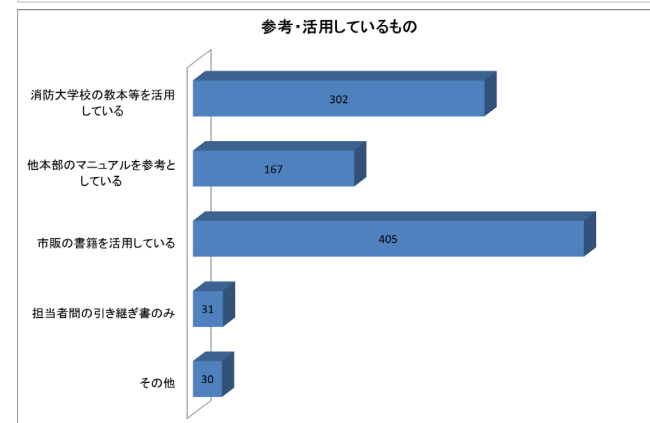
Q2-3-2	整備しているマニュアル	件数	割合
1	実況見分要領等の火災調査要領に関するもの	150	47.2
2	火災調査書類作成要領等の書類作成要領に関するもの	309	97.2
3	その他	24	7.5



※割合については、問3-1で「1」を選択した本部の回答割合

問3-3 独自マニュアルがない場合の参考としているもの(複数選択可)

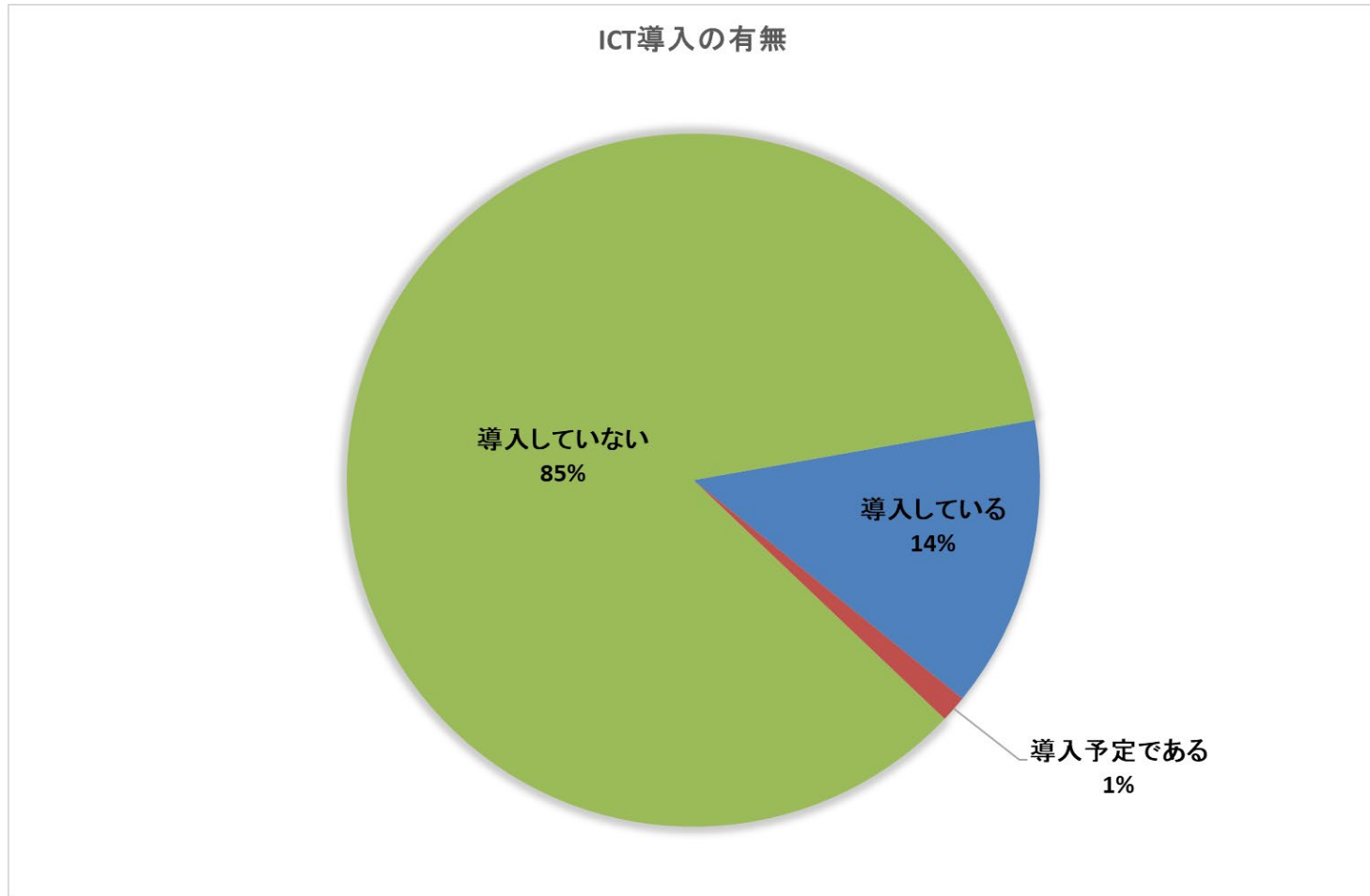
Q2-3-3	参考・活用しているもの	件数	割合(%)
1	消防大学校の教本等を活用している	302	74.0
2	他本部のマニュアルを参考としている	167	40.9
3	市販の書籍を活用している	405	99.3
4	担当者間の引き継ぎ書のみ	31	7.6
5	その他	30	7.4



※割合については、問3-1で「2」を選択した本部の回答割合

3. 火災調査の業務効率化に係る取組等について

問1-1 火災調査に係るICT機器・技術等の導入の有無(択一)



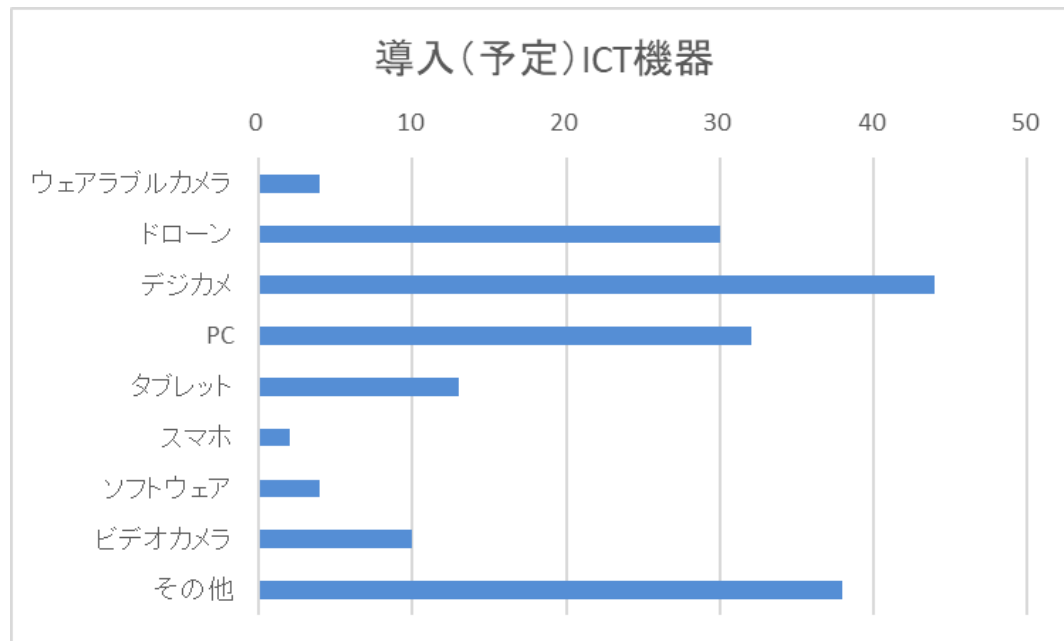
Q3-1-1	ICT導入の有無	件数	割合 (%)
1	導入している	99	13.6
2	導入予定である	9	1.2
3	導入していない	618	85.1
合計		726	100.0

3. 火災調査の業務効率化に係る取組等について

問1-2 導入(予定)しているICT機器(複数回答可)(自由記入)

Q3-1-2	機器名	件数	割合(%)
1	ウェアラブルカメラ	4	3.7
2	ドローン	30	27.8
3	デジカメ	44	40.7
4	PC	32	29.6
5	タブレット	13	12.0
6	スマホ	2	1.9
7	ソフトウェア	4	3.7
8	ビデオカメラ	10	9.3
9	その他	38	35.2

※割合については、問1-1で「1又は2」を選択した本部の回答割合



【その他の回答】

○プロジェクター○VRゴーグル○OAシステム等○高所カメラ○デジタル顕微鏡等○画像伝送装置○X線透過装置、
○レーダー距離計○ボイスレコーダー○WEB会議システム○GARMIN○ガスクロマトグラフ質量分析計
○モバイルプリンター○電子決裁システム○アイビジョン etc...

3. 火災調査の業務効率化に係る取組等について

問1-3 導入に伴う主な効果(自由記入)

導入機器	効果
ウェアラブルカメラ	現場到着時の焼損状況の把握ができる。
	人材育成での教養資料。
ドローン	実況見分を行う際に使用し、映像で見分時の状況を記録。
	俯瞰写真等の撮影が容易に可能となる。
	はしご車が進入できない場所での撮影が可能となる。
	上空から広範囲な撮影及び焼損状況の確認ができる。
タブレット	延焼経路等の確認が容易になる。
	火災現場の全景を容易に把握できる。
	現場で情報の検索ができる。
デジタルカメラ	リアルタイム映像等を残し共有することができる。現場から離れていても現場状況を確認できる。
	調査関係資料を容易に携帯できる。
	現像代等の費用が削減できる。
	画像の拡大等が容易であり、鮮明な写真を調査書類に残すことができる。
	現場写真の現像の必要がなく秘匿性を確保できる。
	調査書類への写真の貼り付け作業等が不要となり、作業効率上がる。

3. 火災調査の業務効率化に係る取組等について

問1-3 導入に伴う主な効果(自由記入)

導入機器	効果
デジタルカメラ	大量の写真を撮影することができる。また、データの取り出し、管理等も容易である。 撮影した写真を現場で確認することができ、効率良く撮影することができる。
デジタルビデオ	火災予防用の広報動画を作成し、火災予防啓発に利用できる。 撮影した結果をフィードバック、職員の知識向上及び市民への予防広報に繋がる。
PC	膨大な情報データを一元管理することができる。 データ化により、情報処理や伝達が容易 情報の共有、類似火災の検索等が容易にできる 調査書類の作成が容易になる。
VRゴーグル	災現場の映像を活用し、実況見分要領を習得することで調査能力の向上が見込まれる。
OAシステム等	調査に係る業務が一括管理できる。 情報の共有が容易。 入力データの二次活用が容易にできる。
動画伝送装置	リアルタイムで情報の共有ができる。 リアルタイムで現場を共有することで、遠隔での支援が可能になる。
GARMIN	林野火災の焼損範囲を詳細に測定できる。

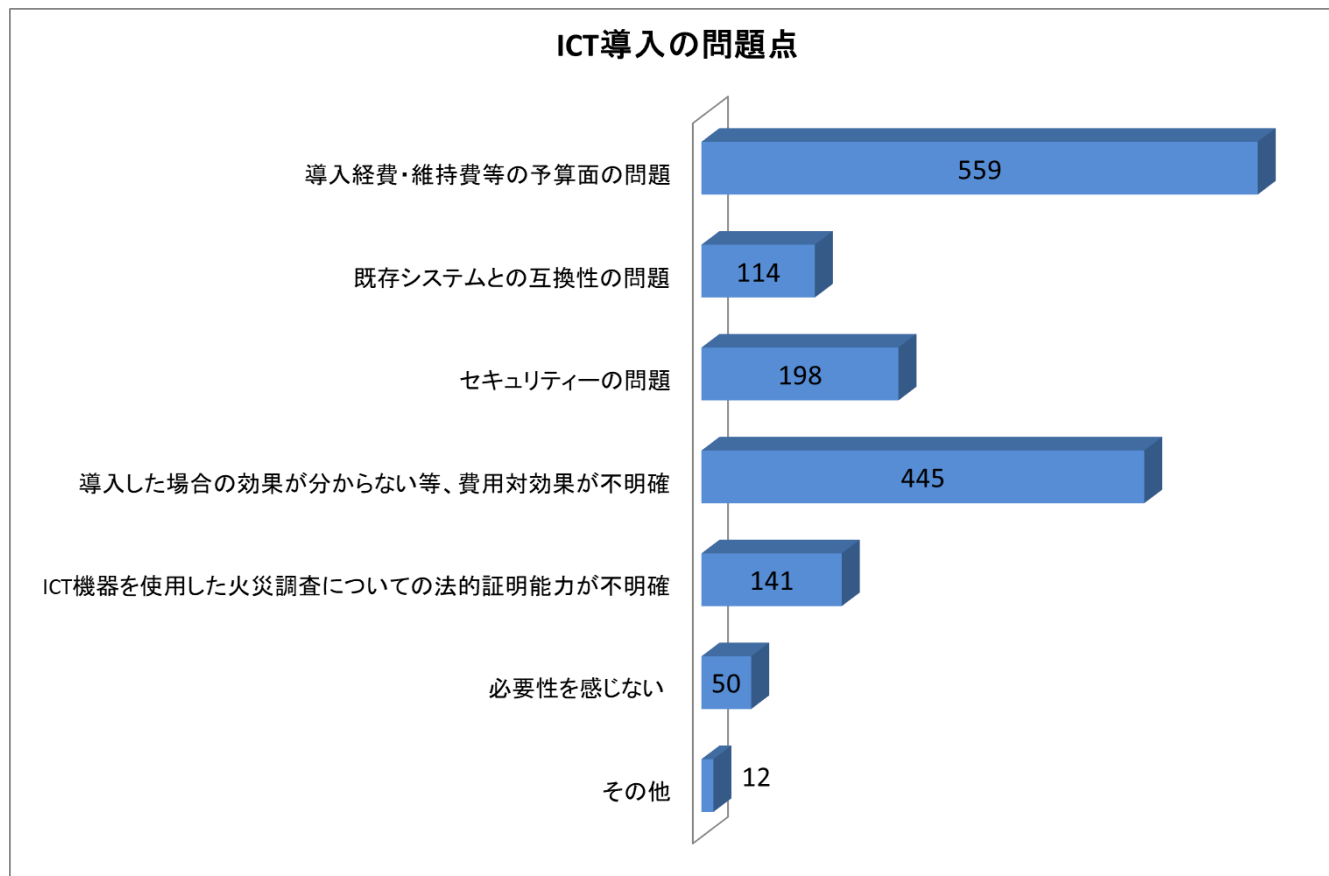
3. 火災調査の業務効率化に係る取組等について

問1-3 導入に伴う主な効果(自由記入)

導入機器	効果
電子顕微鏡等	迅速かつ詳細な見分が可能。
レーダー距離計	正確な計測が可能。
図面作成ソフト	複雑な図面を効率的・容易に作成できる。 制度の高い見やすい図面の作成が可能。
WEB会議システム	オンライン上で研修等が可能。再視聴も容易。
ガスクロマトグラフ質量分析計	科学的根拠に基づく出火原因の究明が可能。
X線透過装置	科学的根拠に基づく出火原因の究明が可能。
モバイルプリンター	必要な書類を現地で出力できるため、再度訪問するなどの時間を省くことができる。
電子決裁システム	ペーパーレス。

3. 火災調査の業務効率化に係る取組等について

問2 ICT機器・技術等導入の問題点(複数選択可)



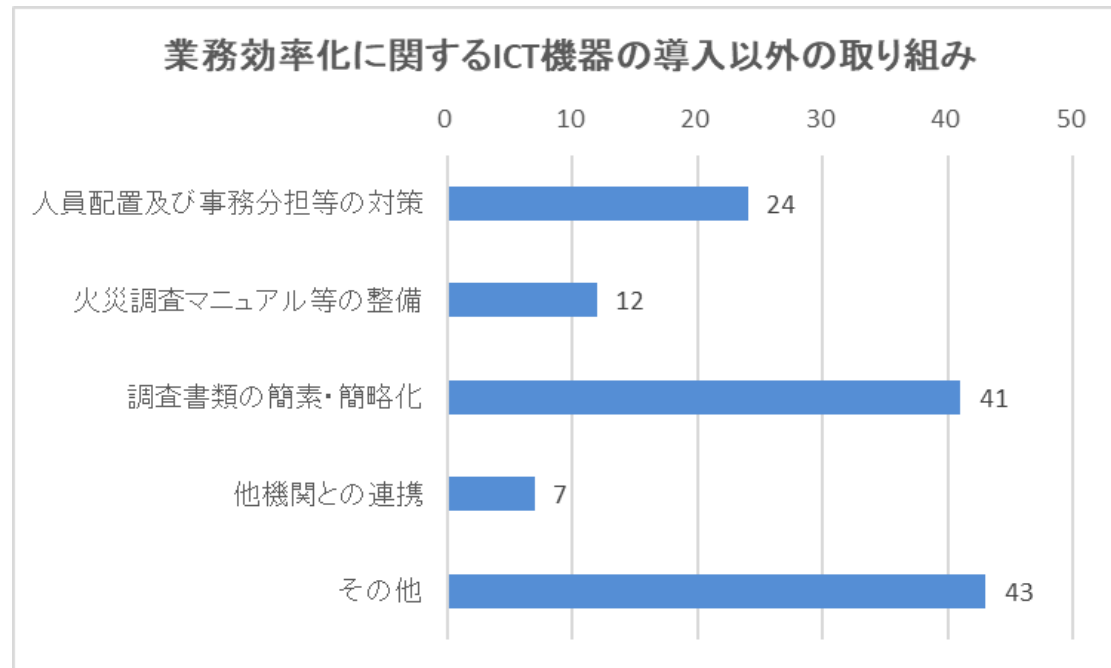
Q3-2	ICT導入の問題点	件数	割合(%)
1	導入経費・維持費等の予算面の問題	559	77.0
2	既存システムとの互換性の問題	114	15.7
3	セキュリティーの問題	198	27.3
4	導入した場合の効果が分からない等、費用対効果が不明確	445	61.3
5	ICT機器を使用した火災調査についての法的証明能力が不明確	141	19.4
6	必要性を感じない	50	6.9
7	その他	12	1.7

※割合については、726本部中の回答割合

3. 火災調査の業務効率化に係る取組等について

問3 火災調査業務効率化等について、ICT機器の導入以外に取り組んでいること
(該当ありの場合のみ回答)(自由記入)

Q3-3	取組内容	件数	割合(%)
1	人員配置及び事務分担等の対策	24	18.9
2	火災調査マニュアル等の整備	12	9.4
3	調査書類の簡素・簡略化	41	32.3
4	他機関との連携	7	5.5
5	その他	43	33.9
	合計	127	100.0



【その他の回答】

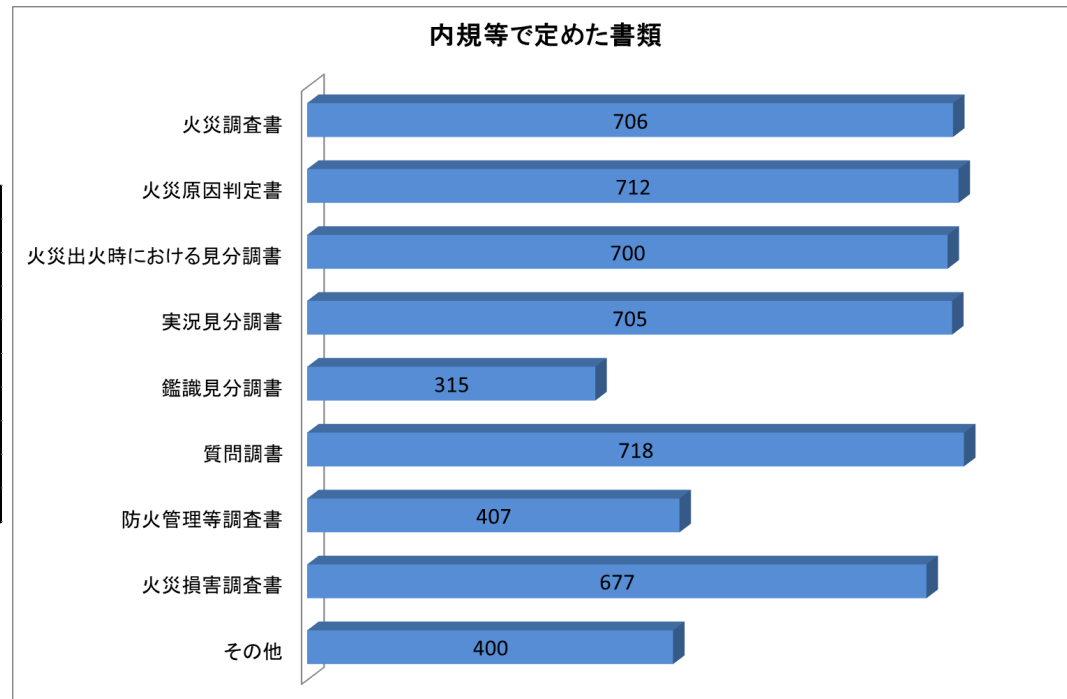
- 経験豊富・知見を有する職員等による現場及び技術支援
- 研修等の実施による人材育成
- メール配信型の研修
- 定期的に行う効率化等に関する検討
- 他本部との情報共有
- 火災調査相談員の設置
- 判定書作成後の検討会 etc...

4. 火災調査書類等の作成等について

問1 内規等で作成を定めている火災調査書類(複数選択可)

Q4-1	内規等で定めた書類	件数	割合(%)
1	火災調査書	706	97.2
2	火災原因判定書	712	98.1
3	火災出火時における見分調書	700	96.4
4	実況見分調書	705	97.1
5	鑑識見分調書	315	43.4
6	質問調書	718	98.9
7	防火管理等調査書	407	56.1
8	火災損害調査書	677	93.3
9	その他	400	55.1

※割合については、726本部中の回答割合



【その他の回答】

- 現場平面○復元等各種図面○死者(負傷者)の調査書○炭化深度調査票○火災防御図○契約調書
- 消防対策資料○損害の認定の根拠となった資料○避難状況等調書○延焼状況等調書○出動状況書
- 火災現場記録写真○火災調査進捗状況報告書○資料提出命令書○報告徴収書○危険物施設等調査書
- 火災原因立証のために必要な資料○損害額の根拠となった資料等○救急出場見分書○鑑定依頼書
- 鑑定結果書○任務分担管理書○救急隊による情報収集報告書○火災調査即報告○住宅防火対策調査票
- 初期消火者調査書 etc....

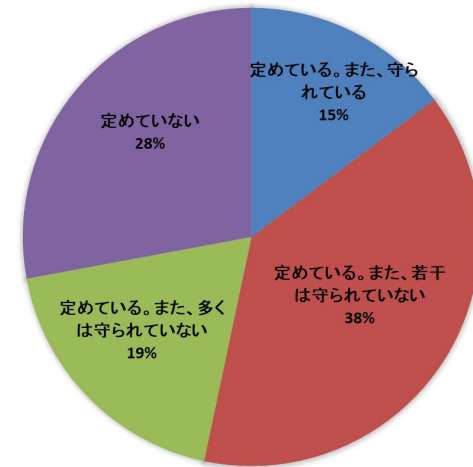
4. 火災調査書類等の作成等について

問2-1 報告期限の有無(択一)

Q4-2-1	火災調査の報告期限	件数	割合(%)
1	定めている。また、守られている	110	15.2
2	定めている。また、若干は守られていない	286	39.4
3	定めている。また、多くは守られていない	133	18.3
4	定めていない	196	27.0
合計		725	100

未回答

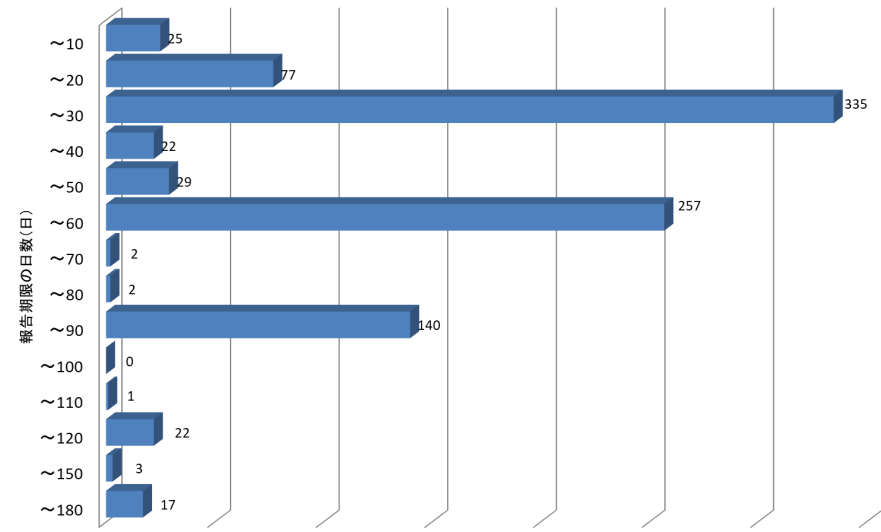
火災調査の報告期限



問2-2 内規等で定める日数(自由記述)

Q4-2-2	内規規定日数	件数	割合(%)
1	~10	25	4.7
2	~20	77	14.6
3	~30	335	63.3
4	~40	22	4.2
5	~50	29	5.5
6	~60	257	48.6
7	~70	2	0.4
8	~80	2	0.4
9	~90	140	26.5
10	~100	0	0.0
11	~110	1	0.2
12	~120	22	4.2
13	~150	3	0.6
14	~180	17	3.2

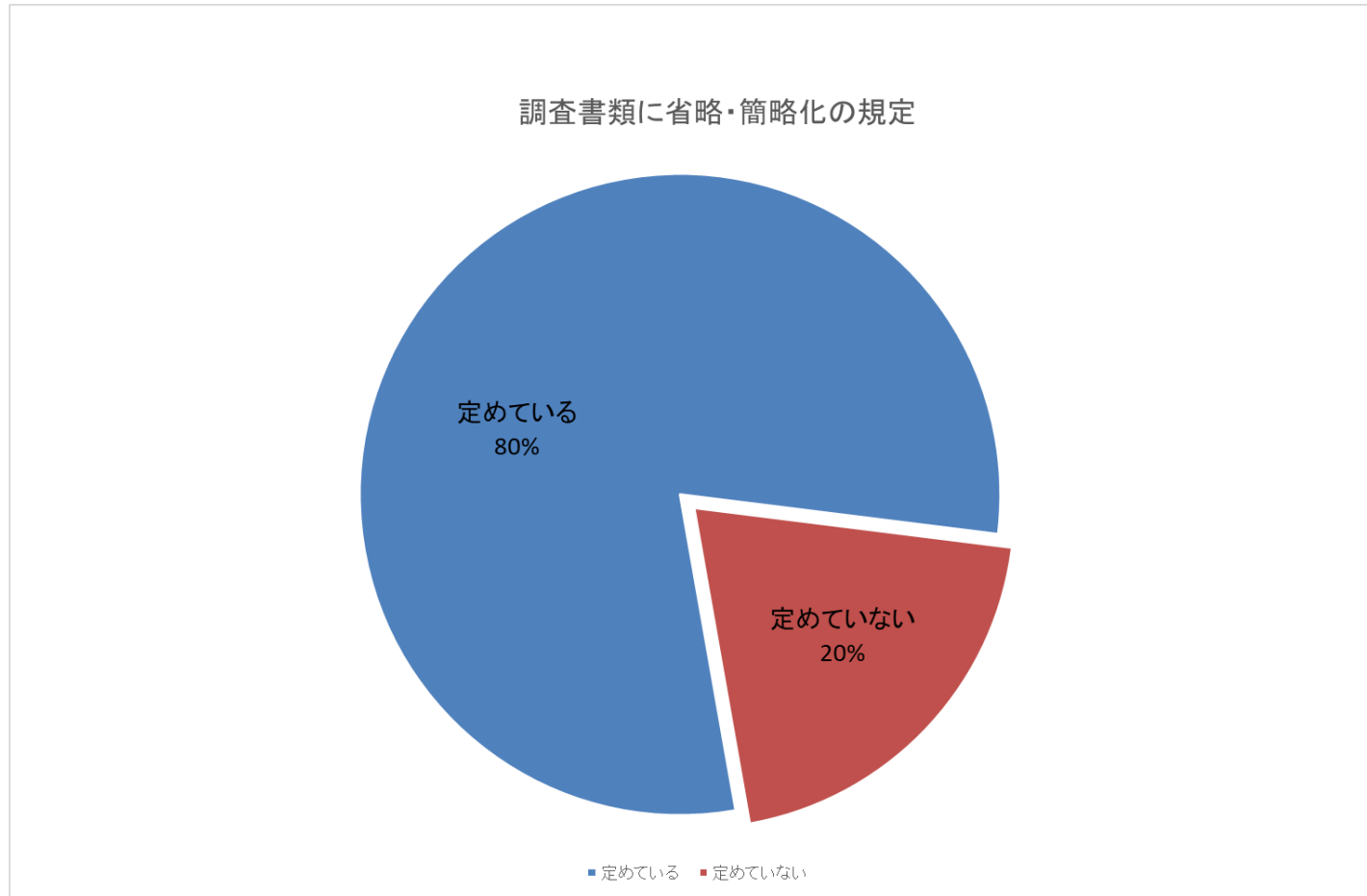
内規で定める報告期限の日数



※割合については、問2-1で「1、2又は3」を選択した本部の回答割合

4. 火災調査書類等の作成等について

問3-1 火災調査書類の省略・簡略化規定の有無(択一)



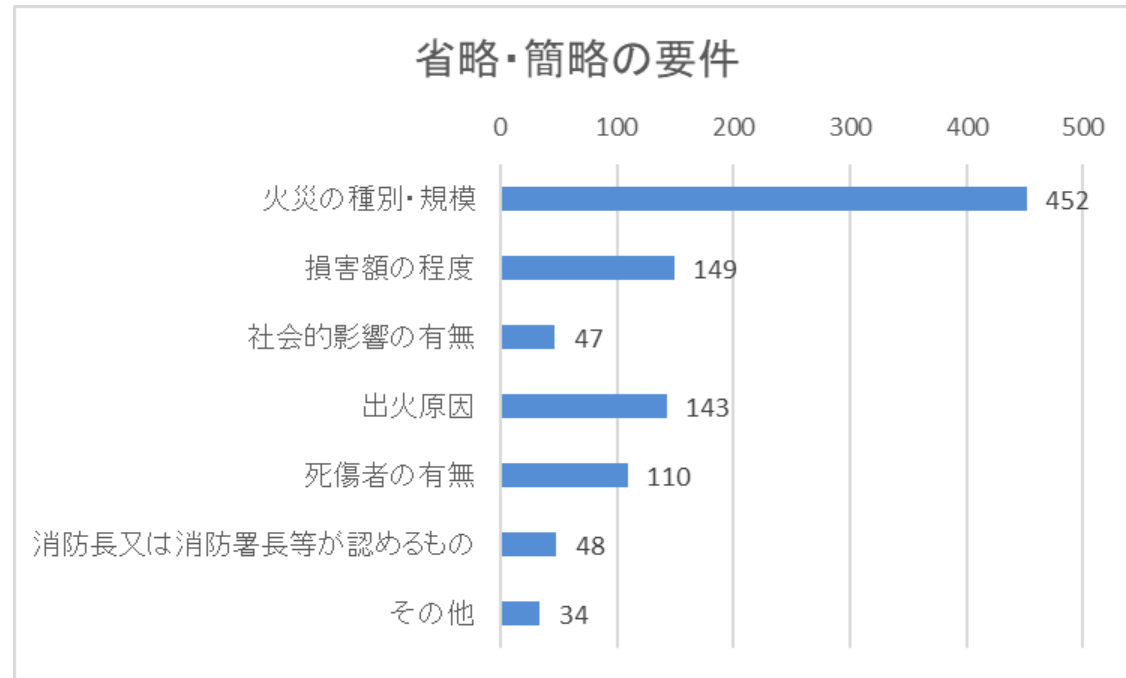
Q4-3-1	簡略化の規定	件数	割合 (%)
1	定めている	579	79.8
2	定めていない	147	20.2
合計		726	100.0

4. 火災調査書類等の作成等について

問3-2 省略・簡略化の要件(自由記述)

Q4-3-2	省略・簡略化の要件	件数	割合(%)
1	火災の種別・規模	452	78.1
2	損害額の程度	149	25.7
3	社会的影響の有無	47	8.1
4	出火原因	143	24.7
5	死傷者の有無	110	19.0
6	消防長又は消防署長等が認めるもの	48	8.3
7	その他	34	5.9

※割合については、問3-1で「1」を選択した本部の回答割合
※上記要件が含まれている回答を抽出(回答の重複あり)



【回答例】

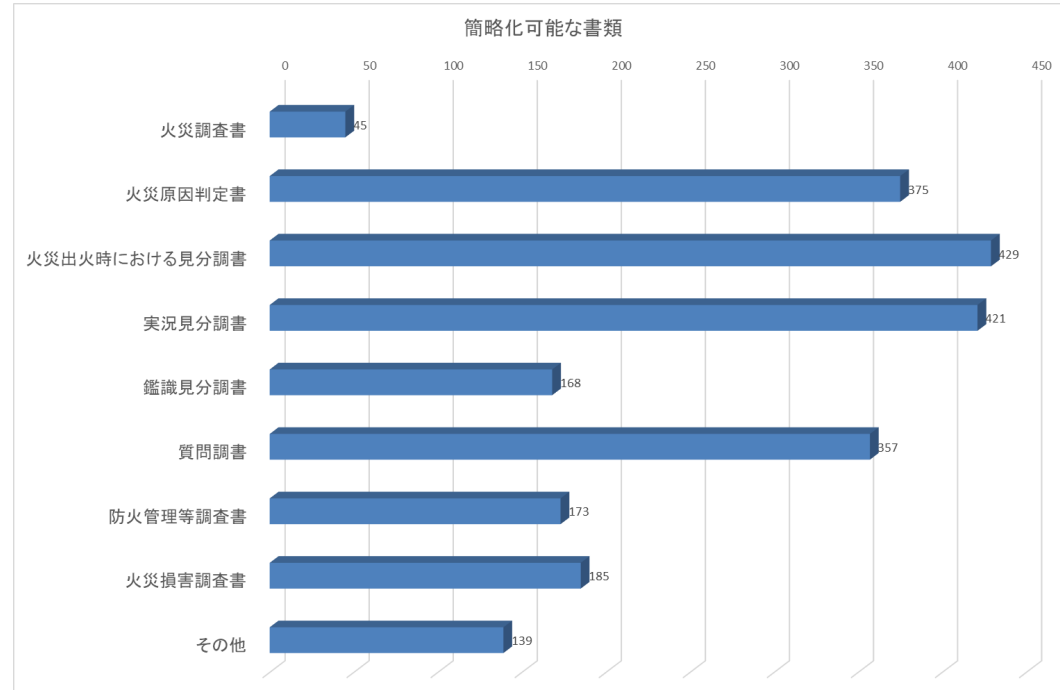
- 火災の規模・種別・・・建物火災で焼損面積が50㎡以下のもの
- 損害額の程度・・・損害額が計上されない火災
- 社会的影響の有無・・・消防行政上支障がなく社会的影響が少ないと認められるもの
- 出火原因・・・出火原因が明らかなもの
- 死傷者有無・・・死傷者が発生していないこと
- 消防長又は消防署長等が認めるもの・・・署長が必要なしと認めたもの
- その他・・・規定を作成中等

4. 火災調査書類等の作成等について

問3-3 省略・簡略化を行う火災調査書類(複数選択可)

Q4-3-3	簡略可能な書類	件数	割合(%)
1	火災調査書	45	7.8
2	火災原因判定書	375	64.8
3	火災出火時における見分調書	429	74.1
4	実況見分調書	421	72.7
5	鑑識見分調書	168	29.0
6	質問調書	357	61.7
7	防火管理等調査書	173	29.9
8	火災損害調査書	185	32.0
9	その他	139	24.0

※割合については、問3-1で「1」を選択した本部の回答割合



【その他の回答】

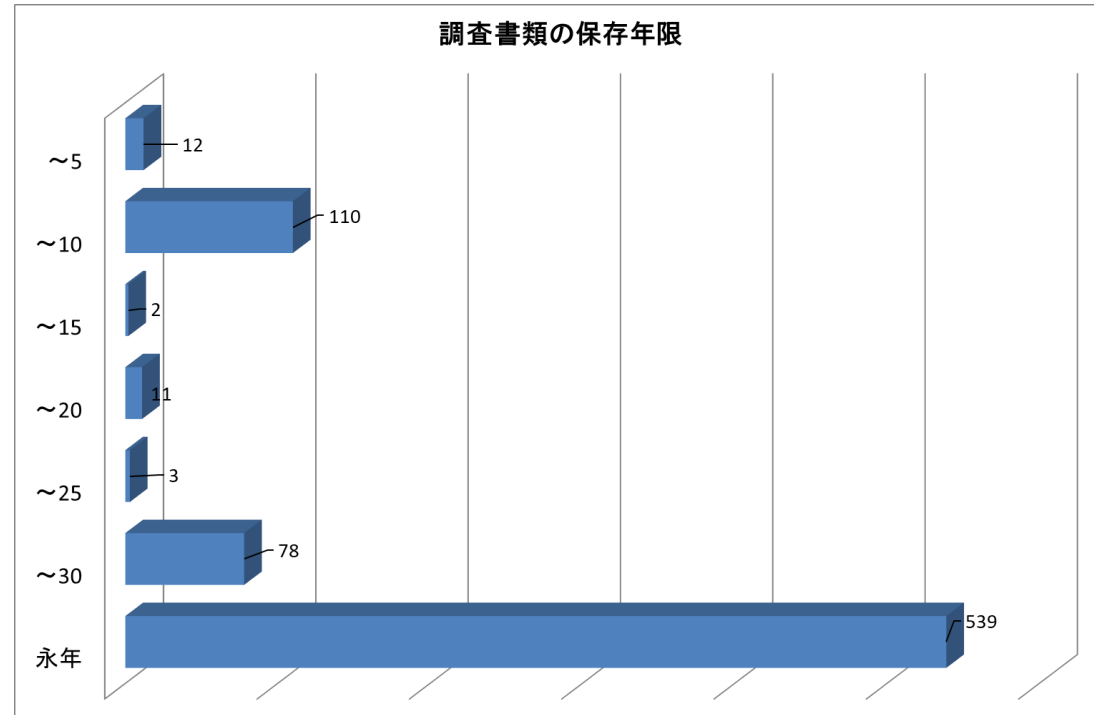
○各種図面○火災出動状況報告書○火災原因調査に関する写真○防火対象物調査書○死傷者調査書 etc...

4. 火災調査書類等の作成等について

問4-1 火災調査書類の保存年限(自由記入)

Q4-4-1	保管期限	件数	割合(%)
1	～5	12	1.7
2	～10	110	15.2
3	～15	2	0.3
4	～20	11	1.5
5	～25	3	0.4
6	～30	78	10.7
7	永年	539	74.2

※割合については、726本部中の回答割合



【保存年限が異なる場合の理由】

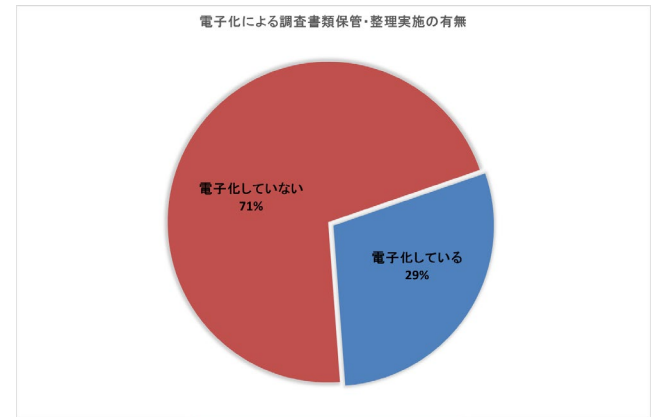
- 火災の種別・規模等により異なる。
- 死者が発生したものについては永年保存となる。
- 調査書類の種類により異なる。
- 社会的影響の大きかったものについては、永年保存となる。
- 消防庁長官に報告を行ったものについては、永年保存となる。
- 紙媒体による報告書は10年、電子データによる報告書は永年
etc...

4. 火災調査書類等の作成等について

問5 火災調査書類の電子化による保管・整理等の実施の有無(択一)

Q4-5	電子化による書類保管	件数	割合(%)
1	はい	211	29.1
2	いいえ	514	70.9
合計		725	100

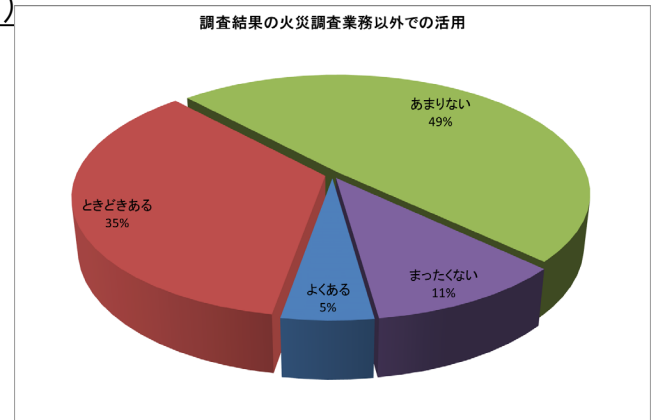
未回答 1



問6 作成した火災調査書類等の火災調査業務以外で活用の有無(択一)

Q4-6	調査結果の活用	件数	割合(%)
1	よくある	36	5.0
2	ときどきある	256	35.3
3	あまりない	355	49.0
4	まったくない	78	10.8
合計		725	100

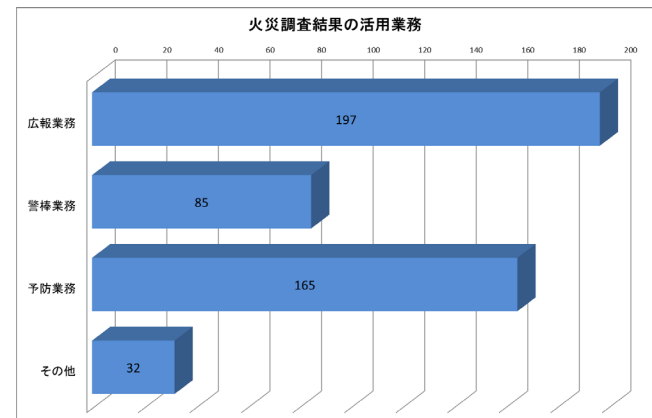
未回答 1



問7 火災調査書類等の活用先業務(複数選択可)

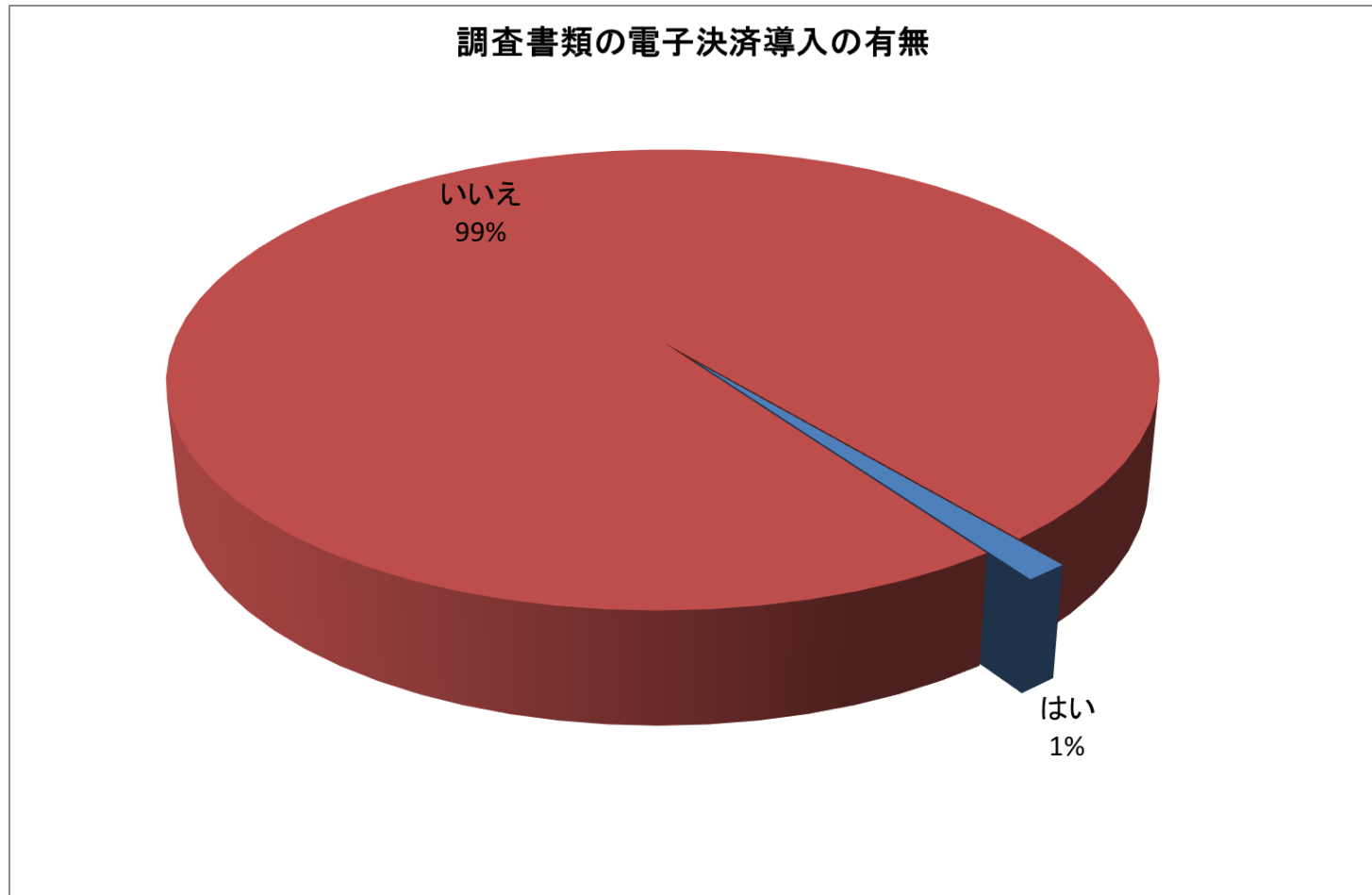
Q4-7	活用業務	件数	割合(%)
1	広報業務	197	67.5
2	警防業務	85	29.1
3	予防業務	165	56.5
4	その他	32	11.0

※割合については、問6で「1または2」を選択した本部の回答割合



4. 火災調査書類等の作成等について

問8 火災調査書類の電子決裁導入状況(択一)



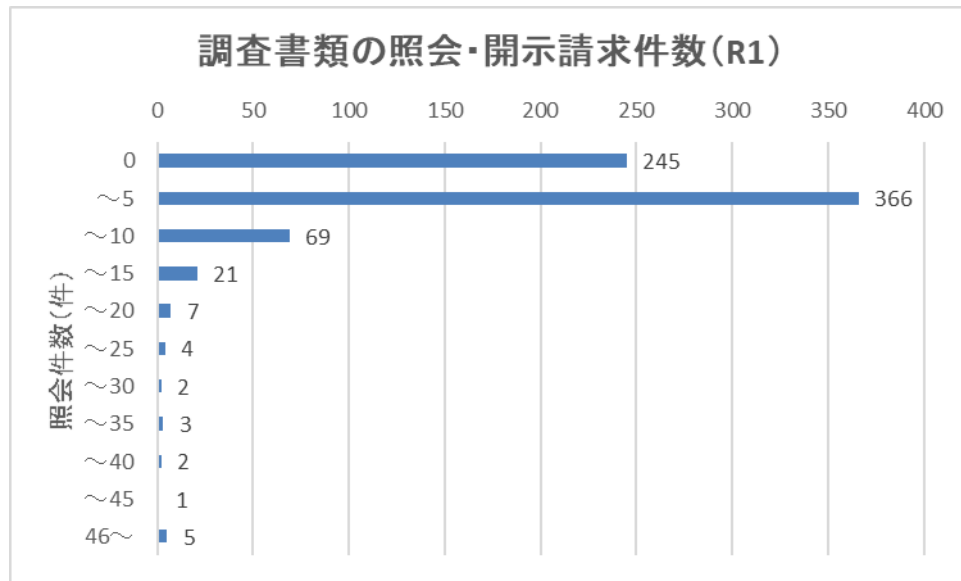
Q4-8	決裁の電子化	件数	割合 (%)
1	はい	9	1.2
2	いいえ	716	98.8
合計		725	100.0
未回答		1	

4. 火災調査書類等の作成等について

問9-1 令和元年度の火災調査書類の照会、開示請求等の件数(自由記入)

Q4-9-1	文書照会件数	回答数	割合(%)
1	0	245	33.8
2	~5	366	50.5
3	~10	69	9.5
4	~15	21	2.9
5	~20	7	1.0
6	~25	4	0.6
7	~30	2	0.3
8	~35	3	0.4
9	~40	2	0.3
10	~45	1	0.1
11	46~	5	0.7
合計		725	100.0

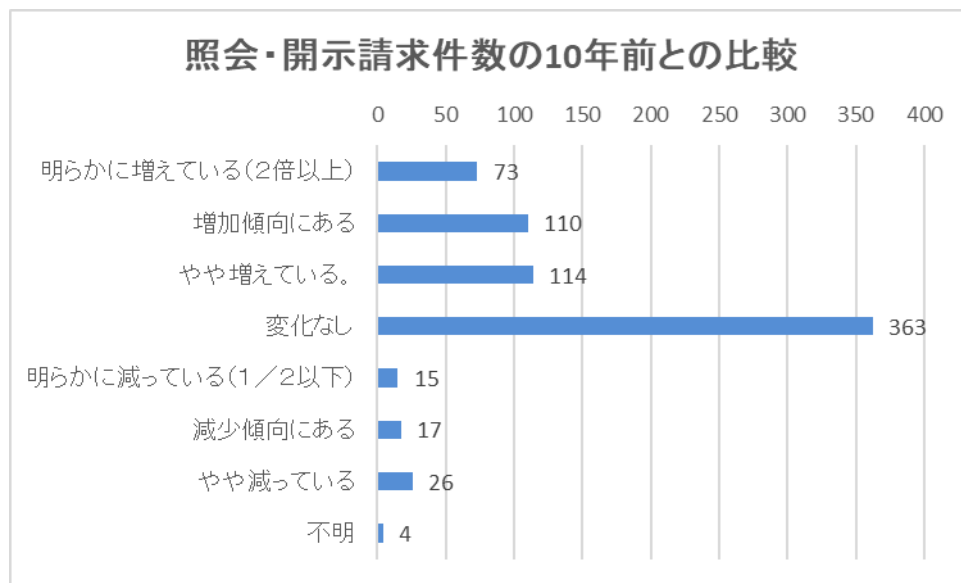
未回答 1



問9-2 照会、開示請求等の件数の増減(10年前との比較)(択一)

Q4-9-2	照会件数の増減	回答数	割合(%)
1	明らかに増えている(2倍以上)	73	10.1
2	増加傾向にある	110	15.2
3	やや増えている。	114	15.8
4	変化なし	363	50.3
5	明らかに減っている(1/2以下)	15	2.1
6	減少傾向にある	17	2.4
7	やや減っている	26	3.6
8	不明	4	0.6
合計		722	100.0

未回答 4

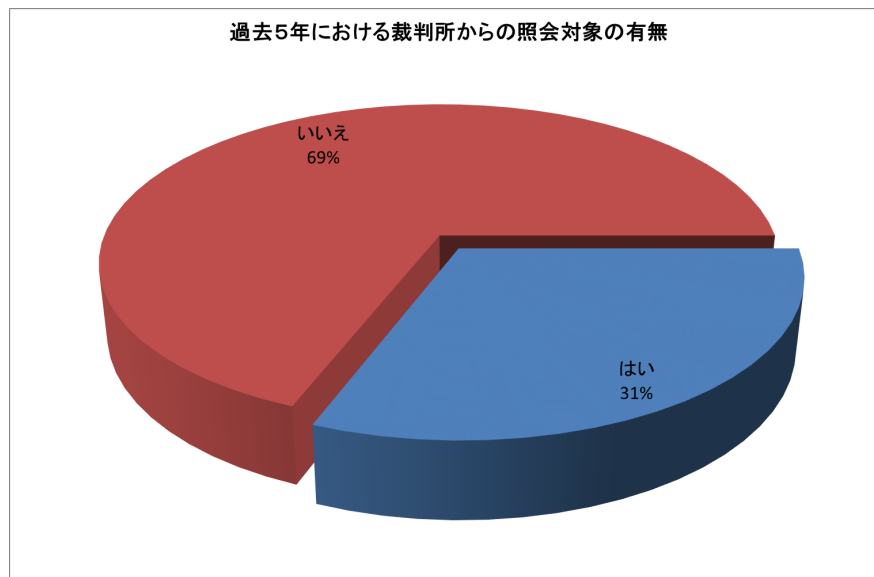


4. 火災調査書類等の作成等について

問10-1 火災調査書類の内容が、裁判所からの文書嘱託、調査嘱託等の照会対象となったケース(令和元年から平成27年までの間)(択一)

Q4-10-1	裁判所からの照会対象	件数	割合(%)
1	はい	223	30.9
2	いいえ	498	69.1
合計		721	100.0

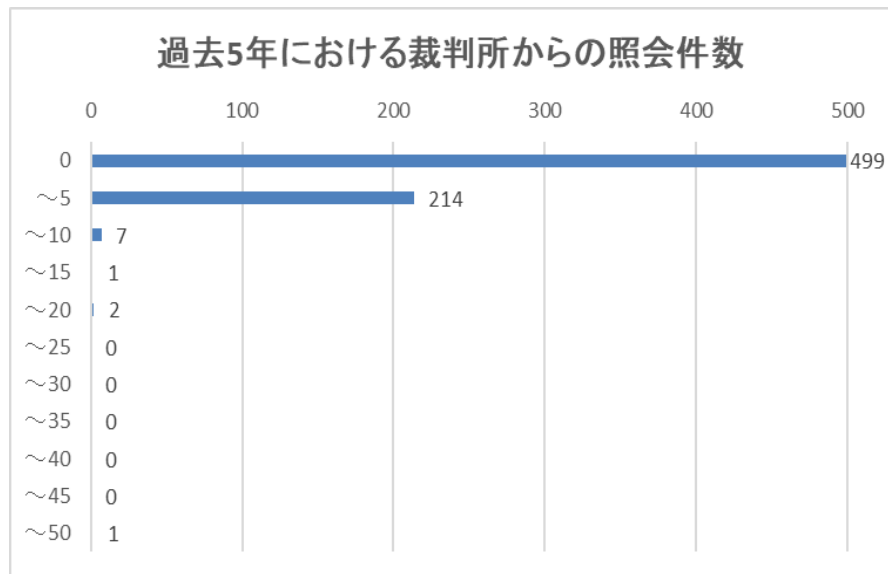
未回答 5



問10-2 裁判所からの文書嘱託、調査嘱託等の照会対象となったケース(過去5年間累計)(択一)

Q4-10-2	照会件数	回答数	割合(%)
1	0	499	68.9
2	~5	214	29.6
3	~10	7	1.0
4	~15	1	0.1
5	~20	2	0.3
6	~25	0	0.0
7	~30	0	0.0
8	~35	0	0.0
9	~40	0	0.0
10	~45	0	0.0
11	~50	1	0.1
合計		724	100.0

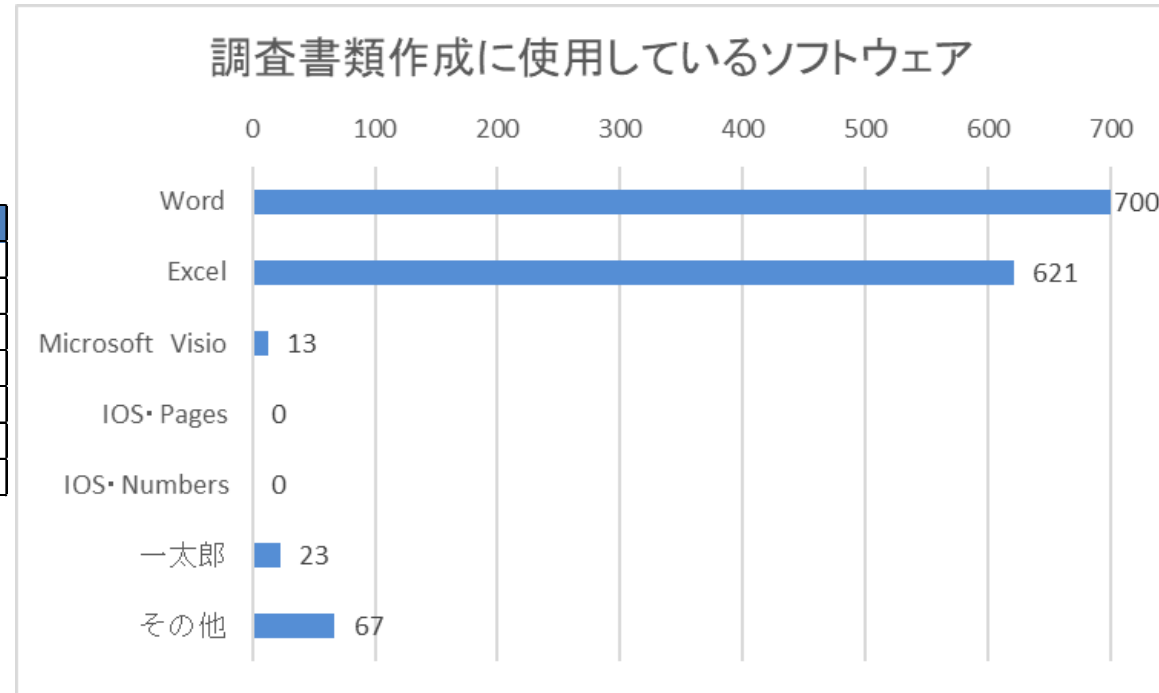
未回答 2



4. 火災調査書類等の作成等について

問11 火災調査書類作成に利用しているソフトウェア(複数選択可)

Q4-11	書類作成に使用しているソフト	回答数	割合(%)
1	Word	700	96.4
2	Excel	621	85.5
3	Microsoft Visio	13	1.8
4	IOS・Pages	0	0.0
5	IOS・Numbers	0	0.0
6	一太郎	23	3.2
7	その他	67	9.2



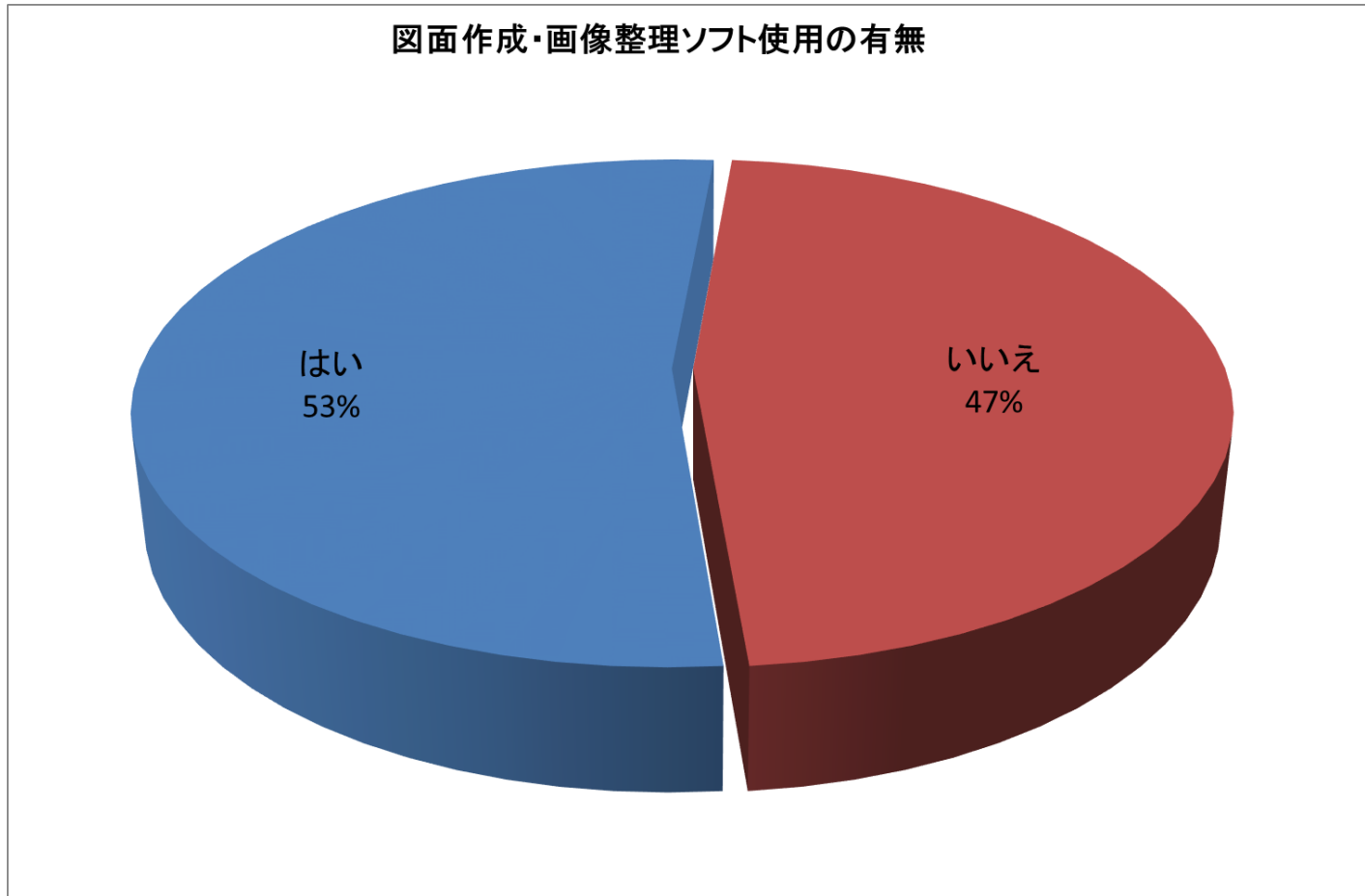
※割合については、726本部中の回答割合

【その他のソフトウェア】

- JW.CAD(図面作成用)○CAD○マイクロソフト(PowerPoint・Visi・Publisher)○らくらく見取り図
- 消防情報支援システム○JUST Note3○JUST Calc3○ネホープ(NEFOAP-MX WEB)
- NEFOAP-EX WEB (NECネホープ)○花子○ゼンリン電子住宅地図デジタウン

4. 火災調査書類等の作成等について

問12-1 図面作成・画像整理時のソフトウェア使用の有無(択一)



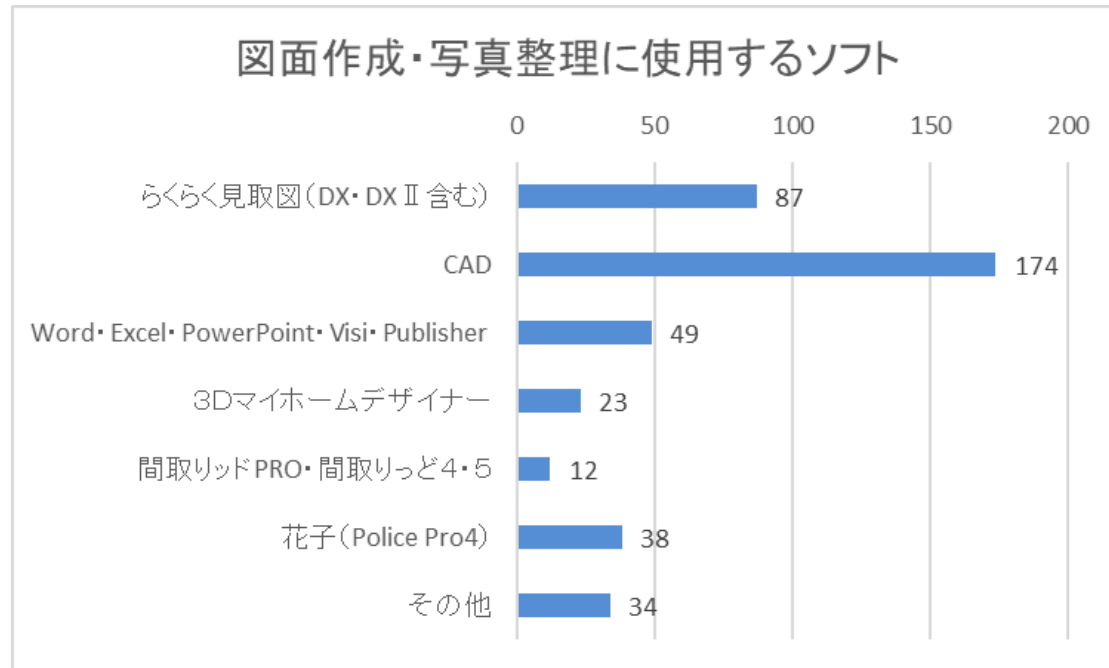
Q4-12-1	図面作成・画像整理ソフト	件数	割合 (%)
1	はい	383	52.8
2	いいえ	343	47.2
合計		726	100

4. 火災調査書類等の作成等について

問12-2 図面作成・写真整理に使用しているソフト(自由記入)

Q4-12-2	図面作成・写真整理に使用しているソフト	回答数	割合(%)
1	らくらく見取図(DX・DX II 含む)	87	22.7
2	CAD	174	45.4
3	Word・Excel・PowerPoint・Visi・Publisher	49	12.8
4	3Dマイホームデザイナー	23	6.0
5	間取りリッドPRO・間取りっど4・5	12	3.1
6	花子(Police Pro4)	38	9.9
7	その他	34	8.9

※割合については、問12-1で「1」を選択した本部の回答割合



【その他のソフトウェア】

○ターボスケッチ○FinePixViewer○Jw-vad8○実況見分見取り図作成ソフト○電子住宅地図デジタウン
 ○画像線分コンバーター○JUST Calc3○イエスマイハウス○Myプランナー○GISOHOCADO○フォトショップ
 ○間取りクラウド○一軒楽着○Docu Works○CorelDRAW○コンピューター支援設計○PasCALforLGWAN
 ○市統合型GIS○Jw win Document○間取りプレミアム

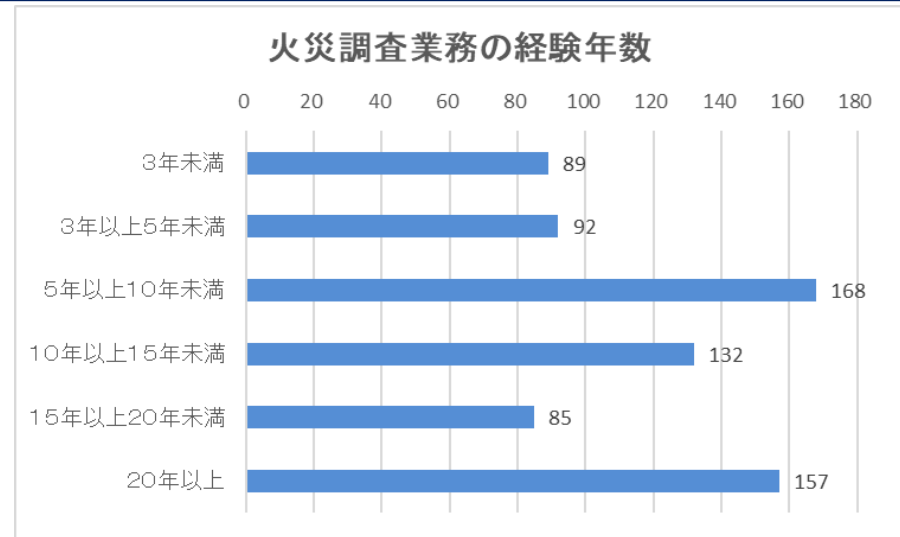
5. 火災調査業務について

※火災調査業務を主に担当者（中心的・統括的立場で行っている）が代表して回答
 ※現在の業務に限らず、これまでの経験を踏まえ回答

問1 火災調査業務の経験年数(択一)

Q5-1	経験年数	回答数	割合(%)
1	3年未満	89	12.3
2	3年以上5年未満	92	12.7
3	5年以上10年未満	168	23.2
4	10年以上15年未満	132	18.3
5	15年以上20年未満	85	11.8
6	20年以上	157	21.7
	合計	723	100.0

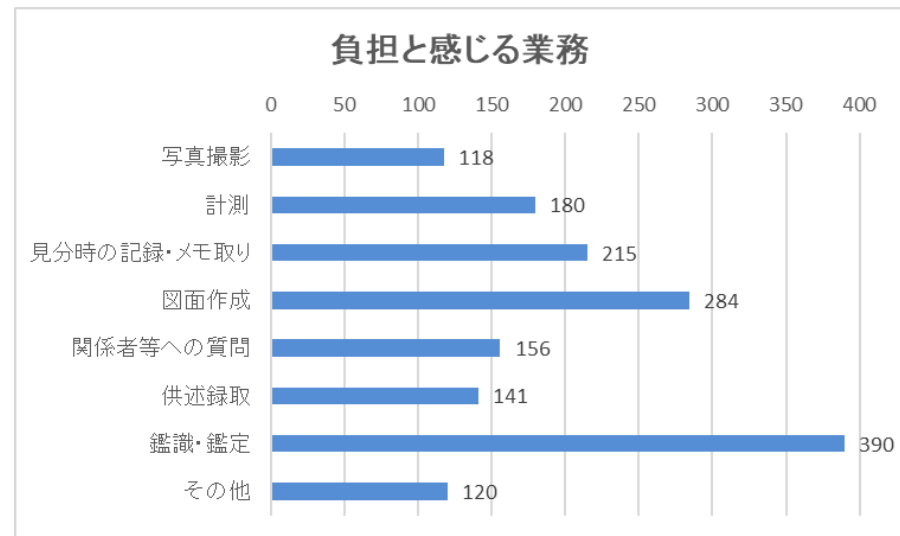
未回答 3



問2 負担と感じる調査業務(複数選択可)

Q5-2	負担と感じる業務	回答数	割合(%)
1	写真撮影	118	16.3
2	計測	180	24.8
3	見分時の記録・メモ取り	215	29.6
4	図面作成	284	39.1
5	関係者等への質問	156	21.5
6	供述録取	141	19.4
7	鑑識・鑑定	390	53.7
8	その他	120	16.5

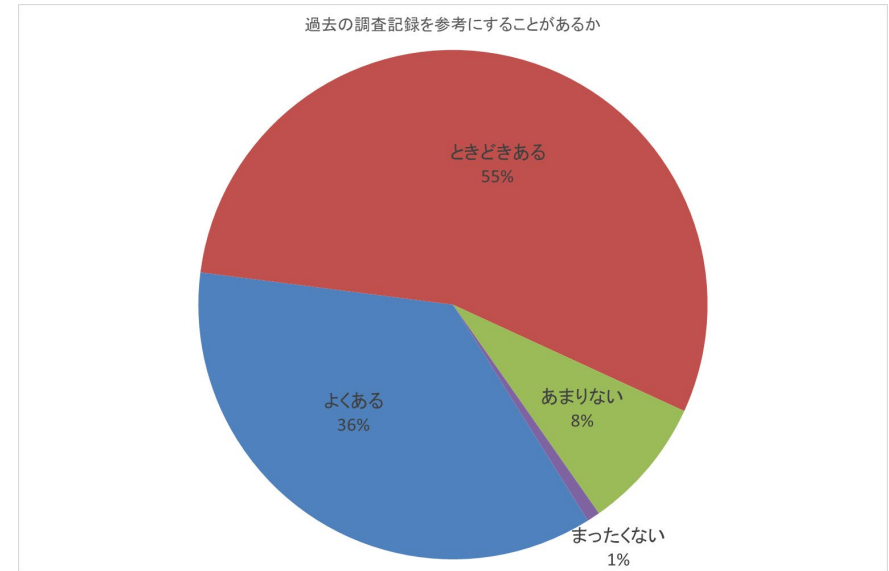
※割合については、726本部中の回答割合



5. 火災調査業務について

問3 過去の類似火災の調査書類を参考に、書類を作成した経験の有無(択一)

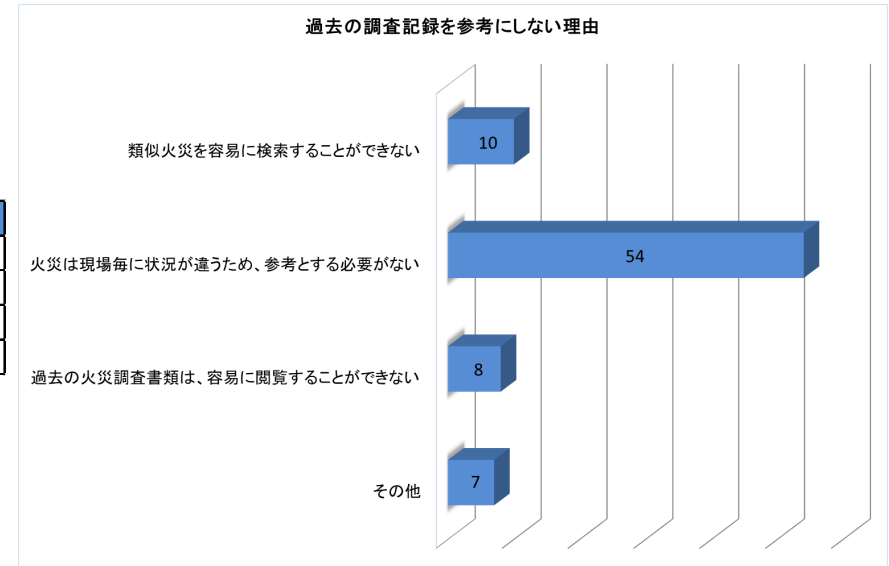
Q5-3	過去の記録を参考に	件数	割合(%)
1	よくある	260	35.9
2	ときどきある	397	54.8
3	あまりない	61	8.4
4	まったくない	6	0.8
合計		724	100.0
未回答	2		



問4 参考としない理由(複数選択可)

Q5-4	参考にしなない理由	件数	割合(%)
1	類似火災を容易に検索することができない	10	14.9
2	火災は現場毎に状況が違うため、参考とする必要がない	54	80.6
3	過去の火災調査書類は、容易に閲覧することができない	8	11.9
4	その他	7	10.4

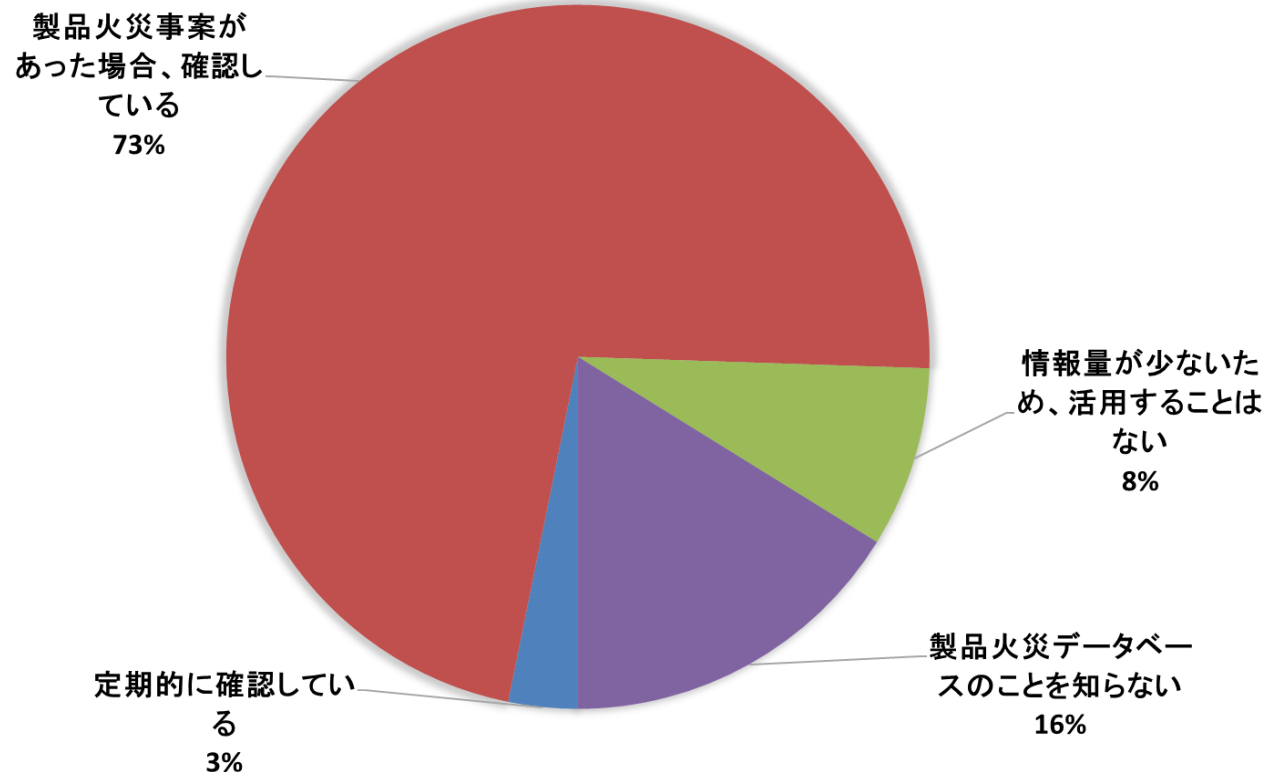
※割合については、問3で「3又は4」を選択した本部の回答割合



5. 火災調査業務について

問5 統計調査系システムの製品火災データベースを活用した経験の有無(択一)

製品火災データベースの活用状況

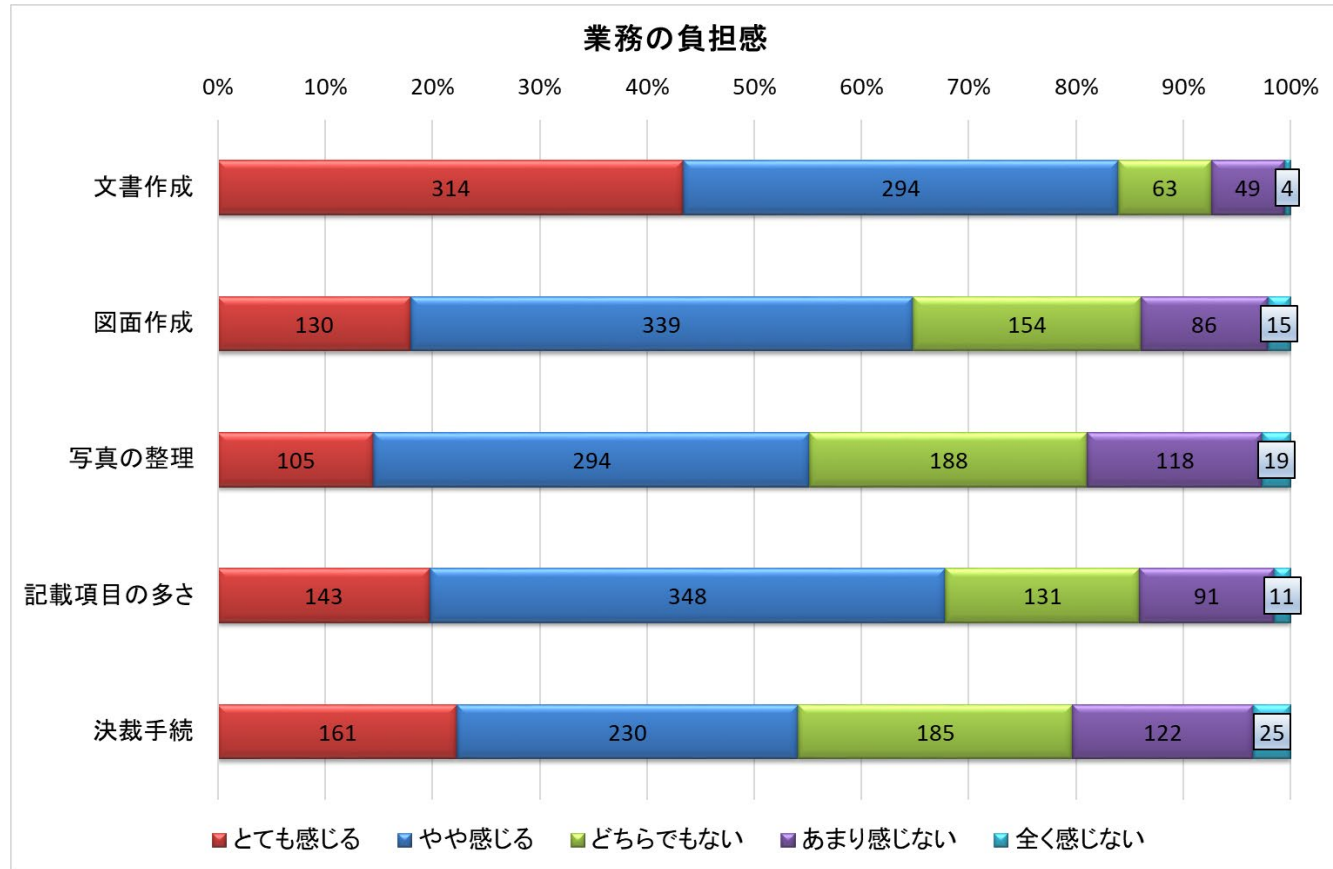


Q5-5	製品火災データベースの活用	件数	割合 (%)
1	定期的を確認している	23	3.2
2	製品火災事案があった場合、確認している	523	72.3
3	情報量が少ないため、活用することはない	60	8.3
4	製品火災データベースのことを知らない	117	16.2
合計		723	100.0

未回答 3

5. 火災調査業務について

問6 火災調査書類別作成の負担感(択一)



Q5-6	負担感	文書作成	割合(%)	図面作成	割合(%)	写真の整理	割合(%)	記載項目の多さ	割合(%)	決裁手続	割合(%)
1	とても感じる	314	43.4	130	18.0	105	14.5	143	19.8	161	22.3
2	やや感じる	294	40.6	339	46.8	294	40.6	144	48.1	230	31.8
3	どちらでもない	63	8.7	154	21.3	188	26.0	145	18.1	185	25.6
4	あまり感じない	49	6.8	86	11.9	118	16.3	146	12.6	122	16.9
5	全く感じない	4	0.6	15	2.1	19	2.6	147	1.5	25	3.5
	合計	724	100	724	100.0	724	100.0	724	100.0	723	100.0

未回答	2	2	2	2	2
-----	---	---	---	---	---